

1 基本計画書

基本計画書

基本計画									
事項		記入欄						備考	
計画の区分		学科の設置							
フリガナ設置者		ガッコウホウジン ミソベガクエン 学校法人 溝部学園							
フリガナ大学の名称		ベップミソベガクエンタンキダイガク 別府溝部学園短期大学 (Beppumizobegakuen College)							
大学本部の位置		大分県別府市大字野田78番地							
大学の目的		教育基本法並びに学校教育法の趣旨に基づき、地域総合科学、食物、幼児教育及び介護福祉に関して深く専門的な学術を研究するとともに、職業に必須の教育を授け、豊かな教育と優秀な技能とを有し、かつ極めてよき指導者として有為な人材を育成し、民主主義社会における文化の創造進展に寄与することを目的とする。							
新設学部等の目的		生活及び地場産業において必要となる知識・技術の習得を目的とした学科への改組							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	ライフデザイン総合学科 [department of life design]	2年	60人	0人	120人	短期大学士 (地域総合科学)	平成20年4月 第1年次	大分県別府市大字野田78番地	
	計		60	0	120				
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)		平成20年度より食物学科(定員100人)を定員60人に定員減(△40)及び食物栄養学科と名称を変更のため6月事前相談予定。 平成20年度より服飾デザイン学科(定員40人)を学生募集停止。 平成20年度より幼児教育学科(定員50人)を定員70人に入学定員増(+20)。 総収容定員の変更はない。							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	ライフデザイン総合学科	58科目	82科目	10科目	150科目	62単位			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等						兼任教員
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
	新設分	ライフデザイン総合学科	3人 (3)	2人 (2)	2人 (2)	0人 (0)	7 (7)	0 (0)	46 (46)
			()	()	()	()	()	()	()
			()	()	()	()	()	()	()
		計	3 (3)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	46 (46)
	既設分	食物学科	3 (3)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	4 (4)	13 (13)
		幼児教育学科	4 (4)	2 (2)	4 (4)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	16 (16)
		介護福祉学科	4 (4)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	7 (7)
		計	11 (11)	6 (6)	6 (6)	0 (0)	23 (23)	4 (4)	36 (36)
合計		14 (14)	8 (8)	8 (8)	0 (0)	30 (30)	4 (4)	82 (82)	
教員以外の職員の概要	職種		専任		兼任		計		
	事務職員		4人 (4)		9人 (9)		13人 (13)		
	技術職員		0 (0)		0 (0)		0 (0)		
	図書館専門職員		0 (0)		1 (1)		1 (1)		
	その他の職員		0 (0)		1 (1)		1 (1)		
	計		4 (4)		11 (11)		15 (15)		

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	8,608.29 m ²	0 m ²	0 m ²	8,608.29 m ²				
	運 動 場 用 地	5,065.55 m ²	0 m ²	0 m ²	5,065.55 m ²				
	小 計	13,673.84 m ²	0 m ²	0 m ²	13,673.84 m ²				
	そ の 他	0 m ²	0 m ²	0 m ²	0 m ²				
合 計	13,673.84 m ²	0 m ²	0 m ²	13,673.84 m ²					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		8,891.15 m ² (8,891.15 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	8,891.15 m ² (8,891.15 m ²)				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)				
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称			室 数				
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
		()	()	()	()	()	()		
		()	()	()	()	()	()		
	計	()	()	()	()	()	()		
図書館		面積 m ²	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数					
体育館		面積 m ²	体育館以外のスポーツ施設の概要						
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度		
	教員 1 人 当 り 研 究 費 等	150 千円	150 千円	図書購入費	625 千円	1,100 千円	1,100 千円		
	共 同 研 究 費 等	800 千円	800 千円	設備購入費	1,900 千円	2,700 千円	2,500 千円		
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次 1,070 千円	第 2 年 次 870 千円	第 3 年 次 千円	第 4 年 次 千円	第 5 年 次 千円	第 6 年 次 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入 等						
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称	別府溝部学園短期大学							
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定 員 超過率	開設 年度	所 在 地
	服飾デザイン学科	年	人	年次 人	人	短期大学士 (服飾デザイン)	0.78	昭和 40年度	大分県別府市大字 野田字通山78番地
	食物学科	2	40	-	80	短期大学士 (食物)	0.76	昭和 42年度	
	幼児教育学科	2	100	-	200	短期大学士 (幼児教育)	1.19	昭和 44年度	
	介護福祉学科	2	50	-	100	短期大学士 (介護福祉)	0.95	平成 15年度	
附属施設の概要									

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置、大学の大学院の研究科の専攻に係る課程の変更又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合は、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 私立の大学又は高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 3 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積り及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 5 空欄には、「－」又は「該当無し」と記入すること。

2 設置の前後における学位及び専任教員の所属の状況

設置の前後における学位等及び専任教員の所属の状況

届出時における状況						新設学部等の学年進行終了時における状況					
学部等の名称	授与する学位等		異動先	専任教員		学部等の名称	授与する学位等		異動元	専任教員	
	学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授		学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授
服飾デザイン学科	短期大学士 (服飾デザイン)	家政関係	ライフデザイン総合学科	5	2	ライフデザイン 総合学科	短期大学士 (地域総合科学)	家政関係	服飾デザイン	5	2
									食物	2	1
食物学科	短期大学士 (食物)	家政関係	食物学科	6	3	食物学科	短期大学士 (食物)	家政関係	食物	6	3
			ライフデザイン総合学科	2	1						

※ 設置届出の場合に添付

3 教育課程等の概要

様式第2号(その2)

教 育 課 程 等 の 概 要

(ライフデザイン総合学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	コミュニケーション論	1		2		○								
	日本語表現法	2		2		○				1				
	日本国憲法	2		2		○								
	経営学	2		2		○			1					
	情報科学	1		2		○					1			
	人間関係論	1		2		○								
	社会福祉	1		2		○								
	ライフサイエンスリテラシー	2		2		○				1				
	日本の文学	2		2		○								
	日本の経済	2		2		○			1					
	キャリア教育	1	1			○			1					
	インターンシップ	1		1				○	1					
	小計(12科目)	—	1	21	0	—			2	2	1	0	0	
外国語	英語Ⅰ	1	1				○							
	英語Ⅱ	1	1				○							
	小計(2科目)	—	2	0	0	—			0	0	0	0	0	
体育	運動スポーツⅠ	1	1				○							
	運動スポーツⅡ	1	1				○							
	小計(2科目)	—	2	0	0	—			0	0	0	0	0	
被服	被服構成演習Ⅰ	1		2			○				1			
	被服構成演習Ⅱ	1		2			○				1			
	ファッション史	2		2		○								
	ファッションプランニングⅠ	1		2			○		1					
	ファッションプランニングⅡ	1		2			○		1					
	ファッションプロジェクトⅠ	2		2			○				1			
	ファッションプロジェクトⅡ	2		2			○				1			
	ファッションデザインテクニック	1		2			○							
	ファッション流行論	1		2		○								
	和裁	1		2			○							
	メイクアップ演習Ⅰ	1		1			○							
	メイクアップ演習Ⅱ	2		1			○							
	ネイルアートⅠ	1		1			○							
	ネイルアートⅡ	2		1			○							
	スマイルアップコミュニケーション	2		2		○								
	ダンス	1		1			○							
	日本の伝統文化(着付け・マナー)	2		2			○							
	カラーコーディネート論Ⅰ	1		2		○								

	カラーコーディネート論Ⅱ	2	2	○																
	ファッションビジネス論	1	2	○																
	ファッションコーディネート演習Ⅰ	1	1		○															
	ファッションコーディネート演習Ⅱ	2	1		○															
	ブライダルコーディネート	2	1		○															
	ファッションアドバイザー概論	2	1	○																
	ファッションアドバイザー実習	2	2			○			1											
	ウィンドウディスプレイ	2	2		○				1											
	販売検定対策	1	2		○											1				
	染色Ⅰ	1	2		○				1											
	染色Ⅱ	2	2		○				1											
	染色Ⅲ	2	2		○				1											
	陶芸Ⅰ	2	2		○															
	陶芸Ⅱ	2	2		○															
	ハンドクラフトⅠ	1	1		○															
	ハンドクラフトⅡ	2	2		○															
	アクセサリ	1	2		○				1											
生活造形	色彩学	1	2	○																
	日本の芸術・文化	1	2	○																
	基礎デザイン	1	2		○															
	デザイン表現	1	2		○															
	素描Ⅰ	1	2		○															
	素描Ⅱ	1	2		○															
	絵画Ⅰ	1	2		○															
	絵画Ⅱ	2	2		○															
	デジタルアートⅠ	2	2		○															
	デジタルアートⅡ	2	2		○															
	プリプレス概論	1	2	○					1											
	DTP演習Ⅰ	2	2		○							1								
	DTP演習Ⅱ	2	2		○							1								
	デザイン論	1	2	○					1											
	写真Ⅰ	1	2		○															
	写真Ⅱ	1	2		○															
	イラストレーションⅠ	2	2		○															
	イラストレーションⅡ	2	2		○															
	ウェブプログラミング演習Ⅰ	1	1		○							1								
	ウェブプログラミング演習Ⅱ	1	1		○							1								
	ウェブデザイン演習Ⅰ	2	2		○							1								
	ウェブデザイン演習Ⅱ	2	2		○							1								
	マルチメディア演習	1	2		○							1								
	3DCG演習	2	2		○							1								
	動画演習	2	2		○							1								
	制作実習Ⅰ	2	2		○				1			1								
	制作実習Ⅱ	2	2		○				1			1								
	フォトレタッチソフトウェア演習	1	1		○							1								

専門 教育 科目		ドローグラフィックソフトウェア演習	1		1		○		1				
		レイアウトソフトウェア演習	1		1		○		1				
		インテリアコーディネート	1		2	○							
		コピーライティング	1		2	○							
		プランニング	1		2	○							
	食 物	栄養学	1		2	○							
		食品衛生学	1		2	○							
		調理Ⅰ	2		1			○					
		調理Ⅱ	2		1			○					
	生 活 医 療 介 護	公衆衛生学Ⅰ	2		2	○							
		公衆衛生学Ⅱ	2		2	○							
		解剖学	2		2	○							
		生理学	2		2	○							
		医療概論	1		2	○							
		医療事務総論	1		2	○							
		医療秘書実務	1		2	○							
		医療事務演習Ⅰ	1		1		○						
		医療事務演習Ⅱ	1		1		○						
		医療事務演習Ⅲ	2		1		○						
		医療事務演習Ⅳ	2		1		○						
		医事コンピュータ	2		1		○						
		医療秘書実務実習Ⅰ	2		2			○					
		医療秘書実務実習Ⅱ	2		2			○					
		臨床医学概論Ⅰ	1		2	○							
		臨床医学概論Ⅱ	1		2	○							
		病名コーディング演習Ⅰ	2		1		○						
		病名コーディング演習Ⅱ	2		1		○						
		診療情報管理論Ⅰ	1		2	○							
		診療情報管理論Ⅱ	2		2	○							
		医学・医療用語	1		2	○							
		薬と検査	2		2	○							
		基礎医学	1		1	○							
		看護概論	1		2	○							
		介護概論	1		2	○							
		介護保険	2		2	○							
		介護技術	2		2	○							
		介護事務演習	2		1		○						
		手話Ⅰ	1		1		○						
		手話Ⅱ	2		1		○						
		老人心理学	1		1	○							
		情報ネットワーク論	1		2	○					1		
		システム設計	2		2	○					1		
		プレゼンテーション概論	1		2	○							
		プレゼンテーション演習Ⅰ	1		2		○				1		
		プレゼンテーション演習Ⅱ	2		2		○						

生活経営	プレゼンテーション演習Ⅲ	2		2			○				1			
	情報処理演習	1		1			○				1			
	表計算演習Ⅰ	1		1			○				1			
	表計算演習Ⅱ	2		1			○				1			
	ビジネス実務総論	1		2		○								
	ビジネス実務演習Ⅰ	1		1			○							
	ビジネス実務演習Ⅱ	2		1			○							
	事務管理	1		2		○								
	簿記Ⅰ	1		1			○							
	簿記Ⅱ	1		1			○							
	実用英会話	1		2			○							
	ビジネス文書	1		2		○								
	現代社会論	2		2		○								
生活基礎	コミュニケーション演習	1		2			○							
	社会心理学	2		2		○								
	日本語表現Ⅰ	1		2		○								
	日本語表現Ⅱ	1		2		○								
	日本語表現演習	2		1			○							
	日本語文法	1		2		○			1					
	日本語読解	1		2		○								
インターンシップ	インターシップⅠ	1		1				○	1	1				
	インターシップⅡ	1		1				○	1	1				
	インターシップⅢ	2		1				○	1	1				
	インターシップⅣ	2		1				○	1	1				
総合	卒業研究	2		2			○							いずれか 選択必修
	卒業制作	2		2			○		1		1			
	小計(134科目)	—	0	229	0	—			2	2	2	0	0	
合計(150科目)		—	5	250	0	—			3	2	2	0	0	
学位又は称号		短期大学士(地域総合科学)			学位又は学科の分野			家政関係						
卒業要件及び履修方法								授業期間等						
基礎科目8単位以上、外国語2単位、体育科目2単位、専門教育科目50単位以上、総計で62単位以上を修得すること。								1学年の学期区分			2期			
								1学年の授業期間			35週			
								1時限の授業時間			90分			

4 授業科目の概要

授 業 科 目 の 概 要			
(ライフデザイン総合学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎科目	コミュニケーション論	人とのコミュニケーションに欠かせない声、笑顔、ことばの大切さを認識し、表現力を上げるとともに、自分づきあい、人づきあいの中から円滑な人間関係を築く基礎を学ぶ。トレーニングや発表など常に自己表現の機会を与え、他者とも自己とも関わり見つめる時間を持つ。1. 自己分析・セルフプラン2. 笑顔について3. 笑顔がもたらす心と人への影響4. 声について5～6. ボイストレーニング7. グループ交流8. 人前に立つ・話す9. ヒアリング10～13. 他者査定(リフレーミング)14. グループディスカッション15. 自分への手紙	
基礎科目	日本語表現法	日本語の特徴と運用上の諸問題について多角的に学習しながら、日本語に関する考え方や知識を深め、社会生活に適應できる能力の育成を目指す。実生活の中での比較的身近に生じる場面を中心とした実践的な学習をすることにより、日常使う国語の力の伸長を図る。1. 話しことばと書きことば2～3. 表現の着眼点(主観・構成・表現など)4～5. 話す場合(挨拶・電話・スピーチ)6～11. 書く場合(作文の基本的知識・レポート・小論文・手紙・ビジネス文書)12～14. 創作(韻文・散文)15. 国語の書き表し方について	
基礎科目	日本国憲法	現在、憲法改正論議が国会の内外で盛り上がりを見せつつあり、主権者としての国民には、今まで以上に憲法について正しく理解しておく事が求められる。高等学校までの知識理解をベースに、改正論議の内容等をはじめ憲法解釈の理解を深める。条文解釈についての講義を中心に行うが、マスメディアの情報等を活用するとともに関連法規についても積極的に導入する。日本国憲法の成立過程・基本原則、人権の保障、地方自治と住民の権利、国際平和と日本、憲法改正論の歴史と現状など。	
基礎科目	経営学	現代企業の実態を経営学の立場から、経営学の対象・出資者と経営者・企業形態・企業集中と系列化・経営管理・経営組織・財務管理・マーケティング及び労使関係の10章に分けて現在の企業並びに本質を探ってみようと思う。最初からいきなり経営の専門用語が出て非常に難しいように思えるが、一般教育科目であるので出来るだけ平易に解説していきたいと思っている。テキストを中心として講義していくが、図表や新聞記事等も利用して出来るだけ分かりやすく講義していきたい。	
基礎科目	情報科学	インターネットの概要を理解し、情報の理解と情報メディアの利用方法を習得する。プリントを用いた講義と実習を通してインターネット環境を理解する。1. ワーク・インバイロメント 2. ハードウェアの構成と用語の説明 3. bitとByteと文字コード 4. URL、IPアドレス、DNS 5. JPNICとドメイン管理 6. インターネットの仕組みと断層化プロトコル 7. Webメール、POPメール 8. インターネットのエチケット 9. アプリケーションと拡張子 10. NetNews 11. 情報検索 12. 著作権 13. 情報倫理 14. 試験評価 15. 総合学習	
基礎科目	人間関係論	科学技術が急速に発展し、近代化と都市化が進む現代では、人間関係が希薄化し、個人的傾向が高まっており、現代社会における人間関係の葛藤と難しさを生む一因となっている。日常の人間関係において生じる心理と行動のメカニズムを学び、人間関係の心理の理解を深めるとともに、「自分」を知ることを通して、よりよい人間関係を築き上げる力を育てる。テキストや配布資料を中心に講義を行い、適宜、実験や検査などを用いて体験的な理解を深める。	

基礎科目	社会福祉	社会福祉の概念を正しく理解させ、世界に前例を見ない早さでつき進んでいるわが国の社会の高齢化と少子化現象の現状を自覚させ、現在及び未来に向かってすべての国民が安心して暮らせる福祉社会の実現のため、欧米先進諸国の社会体制の実情を知ることによって福祉国家を目指すことに関心をもたせたい。テキスト・参考書・プリント・VTR等を使用して社会福祉に関心を持たせる。	
基礎科目	ライフサイエンスリテラシー	身の回りには様々な電子・電気機器があり、私たちの生活において重要な役割を果たしている。しかし、そのメカニズムについてまで知ることは少なく、誤った取り扱いにより事故に至るケースもある。このような機器を有効に利用するためにも、また、安全・環境への影響といった観点からも、使用者自身が正しい知識を持ち、適切に取り扱うことが重要である。この授業では、身の回りにある機器の歴史、科学的な仕組みや働きについて学ぶとともに、新しい技術や、環境との関わりについても考えていく。	
基礎科目	日本の文学	日本文学の古典文学から現代文学に至る流れの中で、親しみやすく、取りつきやすい民話「つるのおんがえし」(鶴女房)をもとにつくられた戯曲、木下順二作「夕鶴」を取りあげ、作品中の人物をとおして愛の本質、日本文化、日本文学の理解を深める。民話と戯曲を比較し共通性、相違点を考え読解力を養う。	
基礎科目	日本の経済	我が国の経済の基本的な事柄から、少し専門的な分野まで講義する。特に、欧米経済と日本経済の相違から入りその後、日本経済の基礎的な事項をマスターさせる。経済史を講義する中で古典経済学者・マルクスとケインズを主にしようと思っている。なお、1回の講義についてレポートを提出させる。その方が、経済学を理解することに役立つと考えている。	
基礎科目	キャリア教育	「就職支援・就職ガイダンス」に偏りがちであった従来の教育活動を見直し、これからは、学生一人一人に社会参加していく意欲や態度と、社会・企業が求めている資質・能力を育成することが必要である。学生に、自分と社会について考えさせ、自己を見つめ(自分らしい生き方)、将来を見つけさせ、人生において負うべき様々な役割を誠実かつ積極的に遂行できる人材の育成を図るため、新たに「キャリア教育」を開講する。	
基礎科目	インターンシップ	インターンシップは今、若年者の職業観や就労意識を高め、キャリア形成を支援する有効な方法として広く認知されている。昨今では、新卒学生の雇用のミスマッチ防止策や、高度人材育成、あるいは企業家を輩出する手段としても導入が検討されるなど、幅広い視点からその結果に期待が高まりつつある。在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことは、自己表現力を身につけ職業を適切に判断する手段ともなる。社会に出るまでに何が必要か考え、実習に臨んでいただきたい。	
外国語	英語 I	Basic foundation to improve confidence and communication in English The primary goal is for you to use English to express yourself and be motivated to learn. This will give you access to a much larger world and give you a viable and marketable skill. Oral and Participatory The class will be based on interaction and participation. Role-play, modeling/shadowing but the overall emphasis will be on authentic and meaningful communication with a focus on "real world" situations.	
外国語	英語 II	英語の使用能力、特に、聞き取り能力の向上を目指し、活動を通じて英語表現や文法、文化全般に対する理解と適応力を獲得させる。視聴覚機器を活用して、映画を教材にした演習を進め、聞き取る作業、内容を理解する作業、英語を身につける作業、そして、実際に学習した英語を使ってみる作業をおこないたい。視聴覚機器を活用することで、生きた英語に触れる時間を最大限確保する。映画を活用した英語演習なので、英語ならではのユニークな表現にも注目してもらいたい。	

体育		運動スポーツⅠ	エネルギーの過剰摂取、運動不足といった生活習慣が我々の健康によくない影響をもたらすということは、周知の通りである。運動スポーツでは、健康的な生活を営んでゆく上での運動の必要性を解説するとともに、スポーツ活動を通じてスポーツの楽しさを体験し、生涯スポーツとして運動スポーツが継続されることを目指す。健康と運動について解説し、実技種目として卓球、バドミントン、水泳を実施する。各競技の基礎的な技術を説明した後、リーグ戦で各自の技能を高める。	
体育		運動スポーツⅡ	近年、労働や生活の機械化により、生活は便利かつ快適になった。しかしその反面、身体活動が減少し、その結果運動不足の様々な弊害が現れ、健康上の大きなリスクファクターになっている。この運動スポーツでは、余暇時間の増加に対応し、生涯にわたって運動・スポーツを楽しむための基礎知識を学ぶ。バスケットボール、バレーボール、サッカーの歴史とルール of 解説からはじめ、試合方法を説明する。リーグ戦を実施し、試合経過を見ながら勝利方法を教える。	
専門	被服	被服構成演習Ⅰ	被服の構造、縫製方法を知り、被服構成の基礎を知る。基礎技術の向上、および応用能力養成のために演習を主とし、講義を交えながら指導する。全体説明～演習という流れで行い、演習を通して生じた各自の疑問・質問に沿った個別指導も行う。具体的には、綿素材のラップ・ド・スカート(巻きスカート)を製作する。洋裁道具の説明・用語・ミシンの取り扱いについての説明の後、基礎縫いをし、正しい採寸方法を学ぶ。デザインにあった生地選びから製作・仕上げ、縫製仕様書の作成までを行い、着装発表をする。	
専門	被服	被服構成演習Ⅱ	前講で学習した基礎の応用・新しいデザインの形を教授し被服を製作する。またシャツの部分縫いをシーチングで製作(半身頃)、これを製作することで袖つけ、襟つけの方法を理解してもらう。演習を中心とし、講義を交えながら指導する。【全体説明～演習】という流れを行い、演習を通して生じた各自の疑問・質問に沿った個別指導も行う。その具体的な作品としてウール素材のプリンセスラインワンピースを製作。前講と異なった素材の縫製の扱いを教授する。	
専門	被服	ファッション史	布を体に巻きつけることから始まったドレスは、いつも時代と女性の存在そのものに反映している。主に西洋において、古代から現代に至るまでに服飾の様式がどのように変遷してきたかを、各時代の歴史的背景(戦乱、支配者、文化、美術、その他)をふまえて学習する。講義を中心に授業を進める。ビデオ・スライド・資料集等の視覚教材も適宜利用していく。1～2. 衣服の起源 3～4. 古代 5～6. 中世 7～8. 近世 9～10. 近代 11～12. 現代 13～14. 現代ファッションの歴史的背景についてのプレゼンテーション15. 試験評価	
専門	被服	ファッションプランニングⅠ	現代のファッションは多様化が進み、表現方法は様々である。多種多様な素材を造形表現活用し、より自分らしく、オリジナルなファッションを立案、製作し、ファッションのデザインカアップに繋げていきたいと思っている。そのためにTシャツのリメイクをテーマに、個人でデザインし、素材選び、裁断、縫製、造形、縫い代の始末などを経てオリジナルなTシャツを完成させる。その後、様々なファッションのイメージ(フェミニン、マニッシュなど)のファッションスタイリングマップを作成し、各自プレゼンテーションを行う。	
専門	被服	ファッションプランニングⅡ	多様化が進むファッション、表現方法は様々である。多種多様な素材を造形表現活用し、より自分らしく、オリジナルなファッションを立案、製作しファッションのデザインカアップに繋げていきたいと思っている。①前講に引き続き、各自自由な発想でリメイクファッション(ジャケット、デニムなど)の製作・発表を行う。②アクセサリー(ビーズ、七宝焼き)を製作し、他のファッションアイテムとの関連を考える。③ウィンドウディスプレイについて各グループで構想を練り、発表する。	
専門	被服	ファッションプロジェクトⅠ	一年次で学習した基礎を応用させて被服を製作する。また卒業制作と並行して卒業制作展に発表する作品等を製作する。デザイン画から実物制作にまで発展させ、一から被服を作り出す事を経験してもらう。演習を中心とし、講義を交えながら指導する。【全体説明～演習】という流れを行い、演習を通して生じた、各自の疑問・質問に沿った個別指導も行う。場合によってはシーチングで部分縫いを製作する等、具体的な縫製の方法を理解してもらう。	

専門	被服	ファッションプロジェクトⅡ	前講で学習した事を応用させて被服または部分縫いを製作する。また、デザイン画から実物制作にまで発展させ、一から被服を作り出す喜びを経験する。演習を中心とし、講義を交えながら指導する。【全体説明～演習】という流れを行い、演習を通して生じた、各自の疑問・質問に沿った個別指導も行う。場合によっては部分縫いを製作する等、具体的な縫製の方法を教授する。実習を主としながら講義をし、個別のデザインに応じて臨機応変に指導する。	
専門	被服	ファッションデザインテクニック	デザイン画を描けるための基礎知識と技術を習得させ、デザイン発想のイメージをもとに、その完成された状態を予想して描けるように学ぶ。初めに雑誌の書き写しをし、実際のバランスや立体感などをつかむ。次に基本となるプロポーション数値とポーズのバリエーションを練習した後、雑誌の中のコーディネートを実習したポーズに着せる。総合的な作品として、拾ってきた葉っぱからイメージをふくらませて自由にデザインを考え、スタイル画を描き、着色して提出する。	
専門	被服	ファッション流行論	服装におけるデザインの基礎知識を学習し、又同時に世界のファッション事情をリアルタイムで学び、独創性を高める。テキスト、世界のコレクションのビデオを使い講義及び実習を行う。1. デザインの意義と条件 2. デザインの創造性 3. 4. 服装の意味 5. 服装の基本形 6. 7. シルエットとディテール 8. 9. 服装と用途 10. アクセサリー 11. 服装に見られる点と線 12. イメージマップ作成 13. 時代によるウエストラインの変化 14. コレクションのレポート評価 15. 試験評価	
専門	被服	和裁	現在、日本の民族衣装である着物についての観念はすっかり変わってしまい、特別な時や行事の時のみしか着用されなくなっている。流行で現れる着物も、今風な着方で紹介されている。そのような着物の良さをあらためて発見してもらう為に、簡単に出来る基本的な一重仕立ての着物(浴衣)を製作する。反物の布幅と、裁断の仕方や仕立て方、和裁ならではの縫い方など日本の気候風土に応じた昔の日本人の知恵を、製作を通して学ぶ。	
専門	被服	メイクアップ演習Ⅰ	流行を意識しながらトータルでファッションを考えるためのメイクアップ技術を、知識や理論に基づいて学ぶ。化粧品や用具の説明も交え、基本的実技、学科の要点を講義とデモンストレーションにより把握させた後、相モデルで実習を行う。まず「骨格」や「パーツ」を理解するところから始まり、基本のメイク、撮影用のメイク、ショー用のメイクなどさまざまなバリエーションを習得する。その人の持つ美しさを最大限に引き出し、新たな魅力を見出すことを目標とする。	
専門	被服	メイクアップ演習Ⅱ	流行を意識しながらトータルでファッションを考えるためのメイクアップ技術を、知識や理論に基づいて学ぶ。化粧品や用具の説明も交え、基本的実技、学科の要点を講義とデモンストレーションにより把握させた後、相モデルで実習を行う。前講で学習したメイクアップの基礎知識・技術を応用し、さらに高度な技術を習得することを目標とする。メイクアップだけでなく、ボディペイントなど顔以外に施すメイクにも触れる。	
専門	被服	ネイルアートⅠ	指や爪の構造、爪の異常と病気、マッサージ法や手入れ法に関する基本的実技、学科の要点を講義とデモンストレーションにより把握させる。また実際にマニキュアを施す場合の注意点などを相モデル、ネイルチップで実習する。爪・皮膚の構造、器具についての講義、爪の形各種の解説～ファイリング実技、甘皮処理・カラーリング実技講義、カラーリングと各種ネイルアート(①ラメのグラデーション②スポンジアート③フレンチネイル④ラインストーン⑤ドットの花⑥ハート⑦3Dアート)を行う。	
専門	被服	ネイルアートⅡ	1年次に学習した実技を応用し、オリジナルチップの作成や3Dアートなどの高等技術習得。1. 1年次に学習したネイルアートの練習 2. 3Dアートの基本学科 3. 3Dアート用パウダーの作成 4. 3Dアート(五枚花)(ハート) 5. 3Dアート(立体花) 6. オリジナルチップの作成の仕方、デザイン考案 7～9. オリジナルチップ作成(3Dを使用したデザイン) 10～13. オリジナルチップ作成(複合デザイン) 14. 3Dパウダーを利用し人形作成 15. 試験対策	

専門	被服	スマイルアップコミュニケーション	接客、接遇に欠かせない明るい声、優しい笑顔、あたたかい言葉・思いやりの所作などホスピタリティの体現を身につけ、コミュニケーション能力を高める。様々なトレーニングを行い、実際の接客・接遇を想定したロールプレイング(実践的実習)を随時行う。自己分析、笑顔・声について、接客・接遇八大用語、接客ロールプレイング、クレーム対応、感じの良い電話対応、魅力ある履歴書、自己紹介・自己PR、面接ロールプレイングなど、円滑な人間関係のためのさまざまな知識をつけ、体現できることを目標とする。	
専門	被服	ダンス	卒業ファッションショーのために、ウォーキング・ポージング等をレッスンする。個々の洋服の特性を理解し、体全体で表現する。実習の要点をデモンストレーションにより理解してもらい、グループ・個人など様々なバージョンで実習してもらう。また美しいウォーキングで体をシェイプアップし、服の表現方法を広げていく。内容:正しい姿勢・正しいウォーキング基礎、ターン各種・様々なポージング、アレンジウォーキング、自分の作品にあわせたウォーキング・ポーズ・表現方法、実際に着装してみでのリハーサル・本番	
専門	被服	日本の伝統・文化(着付け・マナー)	日本の伝統文化を守る為には、若い方の一人でも多くの人にしっかりと受継いでもらいたい。その為には自分で着物が着れる事(自分で着れる様になると楽しくなり、帯結びもしっかり覚えてもらう)が大切。内容としては着付け2級程度で、着物の着方・たたみ方、基本的な帯結び(二重太鼓、名古屋太鼓)からよく使う帯結び(半幅文庫、貝の口、つの出し、文庫)、基礎になる下着(肌着、長襦袢、体型別補正)のつけ方などを理解してもらう。	
専門	被服	カラーコーディネート論Ⅰ	色には様々なイメージがあり、これはファッションコーディネートには欠かせない要素の一つである。そこで、色のイメージや心理、配色調査などから色彩感覚をトレーニングするための講義を行う。色はなぜ見えるのかという3要素「光・視覚・物体」の理解を文部科学省認定色彩検定・AFT3級テキストを中心に指導する。またPCCS199Bカラーカードを使いヒュー・トーンシステムの理解また配色調和の考え方を演習に兼ねて実践に役立てるよう創造力を養う。またAFT色彩検定3級の取得を目指す。	
専門	被服	カラーコーディネート論Ⅱ	カラーコーディネートについて基本的な知識の理解と実践。文部科学省認定色彩検定・AFT3級テキストを中心に、PCCS199Bカラーカードを使いヒュー・トーンシステムの理解また配色調和の考え方を演習を兼ねて実践に役立てるように指導。また混色の原理を理解することにより“色を作る”創造力を養う。1. カラーコーディネートとは 2. 色の三属性と色立体(PCCS) 3. マンセルシステム 4～6. 色彩調和 7～8. 色彩心理 9～11. 光と色 12. ファッションカラーコーディネート13～14. インテリア・環境カラーコーディネーション 15. 総合評価	
専門	被服	ファッションビジネス論	ファッションに関する仕事全般について、正確に又具体的に認識する為の入門として講義する。ファッションビジネスの分野は製品の計画・生産から販売や宣伝など多岐にわたっており、全体の流れを把握してもらうとともに、製品の基礎知識の習得も含め、主な分野について実例をもとに実践的な検討を行う。ファッションビジネスの4段階、原材料・素材の生産段階と商品知識、アパレルの生産段階としくみ、顧客ターゲットのセグメンテーション、仕入政策、販売管理、ファッションビジネスの補助的段階など。	
専門	被服	ファッションコーディネート演習Ⅰ	ファッションを構成する大きな要素であるコーディネートを基本的にとらえる。各プリントを用意し、グループごとに実際のコーディネートも行う。又、ビデオで最新ファッションの特徴をとらえる。1. 2. 2007春夏ファッションショー(ビデオ)3. コーディネートの基礎知識4～5. クラシックのコーディネート6～7. エレガントのコーディネート8～9. フェミニンのコーディネート 2007秋冬ファッションショー(ビデオ)10～11. マニッシュのコーディネート12～13. フォークロアのコーディネート 2006秋冬ファッションショー(ビデオ)14. レポート評価 15. 試験評価	

専門	被服	ファッションコーディネート演習Ⅱ	仕事をする為に、必要な最新のトレンドのを見つけ方といろいろなファッションコーディネートについて考える。講義だけでなく、意見を発表することで、自己を主張できる力が重要だと考え、発言の機会を多くする。流行だけでなく、基本に忠実なコーディネートを本流とする。1. 流行のコーディネートについて講義 2～3. デザイン画製作 4. テレンド(ファッション、ヘアメイク等)にそった意見発表 5～6. グループごとにトルソーを使った実技コーディネート 7. 写真撮影及び評価 8. 総合評価	
専門	被服	ブライダルコーディネート	ブライダル業務は婚礼、結婚式、披露宴、新婚旅行、結婚生活の開始など多くのシーンに関連している。この授業では、ブライダル業務の概論・実務やドレス・ブーケ・アクセサリーなどのコーディネート、婚礼の形式・事例まで幅広く学ぶ。ブライダル用のメイク法やドレスのシルエットに合わせたブーケなども学び、新郎新婦の衣装選び・メイクなどから結婚式・披露宴までトータルでプロデュースできる知識と技術を習得する。	
専門	被服	ファッションアドバイザー概論	ファッション・アドバイザーとして、『商品』がどのように流通するのかを「企画・生産」→「小売」→「購買者」の各段階における、基本的な理論考察を行い、流通全体を理解することを主な目的とする。基本的な「マーケティング理論」、「マーチャライジング理論」「サービス理論(商品の付加価値)」を各企業で行われている実際の《ケーススタディ＝事例》クラス全員で研究・討議しながら、理解していく方法を採用する。『ファッション商品』の流通の各段階における、基本的な理論を解説する。	
専門	被服	ファッションアドバイザー実習	ファッションアドバイザーとは、商品の企画や品揃え、仕入業務を助言し、来店客に商品の選択や着こなしなどのアドバイスを与えて販売につなげることでできる人を言う。コンサルティング・セールスのできる専門職の販売員を目指すために、大学で履修した専門的な知識や技術をもち、販売現場でファッション販売の現状や商品知識と情報、コーディネート術、接客技術などを総合的に体験することが目的。校外実習を通して、上記のことを学ぶ。 実 習 先 (株)トキハ 大分市府内町2-1-4 期 間 9月上旬(10日間)予定 販売部門 婦人服売場・子供服売場・紳士服売場・和装売場	
専門	被服	ウィンドウディスプレイ	売り場には、計画性のある品揃えで販売するための「陳列部分」と、注目を集め、関心と興味を持ってもらい、見る・選ぶなど顧客が楽しみながら買い物が出来るための「演出部分」、つまりディスプレイが必要である。ディスプレイの中でも特に、店外からも見えてお客様の視覚を引き付ける効果のある「ウィンドウディスプレイ」に注目し、その効果的な方法やマネキンへの着せ付け方、什器の扱い方などを学ぶ。グループごとにテーマカラーや設定などを企画させ、学園内にあるウィンドウで実践・発表をする。	
専門	被服	販売検定対策	日本ファッション教育振興協会主催ファッション販売能力検定2、3級取得のための講座。ファッション商品販売の仕事に携わる場合に必要とされる基本的なファッション商品知識、販売基本知識、接客基本技術などが問われるため、対策テキストを中心に講義・実践を行う。また魅力的なファッションアドバイザーになるために、知識やマナーだけでなく、売り場演出の方法やラッピングなど販売に付帯するサービスに必要な技術やお直し技術など、プロとして最小限必要な技術の習得を目指す。	
専門	被服	染色Ⅰ	染色の知識と技法(絞り染め、友禅染、型染、筒描き、ステンシル等)の基本を学び、学生独自の作品を制作し、デザイン構成と感覚を養う。テキストを使用し講義を行いながら作品を制作していく。ビデオ、テキストを使用し、講義を行いながら作品を制作する。①デザイン構成について②染色の種類と技法について(絞り染め)のれん、Tシャツ制作(型染)クッション制作(ステンシル)テーブルセンター制作(筒描き)ハンカチ制作③染料について	
専門	被服	染色Ⅱ	染色Ⅰで学んだ型染、筒描などの基本技術を応用し、学生独自の作品を制作する。また、卒業制作で染色の部門として浴衣、ドレス等を発表することもある。テキストやプリント、ビデオを使用し、講義を行いながら作品を制作していく。○染色の技法と種類 ○素材と染料の種類 ○題材の設定、描写、技法と種類、形態(シャツ、デニム、スカートなど)の把握 ○図案構成、色彩計画 ○素材と染料の決定 ○各自決定した方法で染色、仕上げ	

専門	被服	染色Ⅲ	染色Ⅰ、Ⅱで学んだ型染、筒描き、その他の基本技術を応用し、学生独自の作品を制作する。また、卒業研究(ファッションショー)で染色の部門として浴衣、ドレス等を発表することもある。テキストやビデオを使用し、講義を行いながら作品を制作していく。○染色の技法と種類 ○素材と染料の種類 ○題材の設定、描写、技法と種類、形態(着物・帯・パネル・タペストリー・ドレス等)の選択 ○図案構成、色彩計画 ○素材と染料の決定 ○各自決定した方法で染色、仕上げ	
専門	被服	陶芸Ⅰ	工芸、クラフトの学び、また立体としての学びのひとつとして、陶芸を実習する。環境、暮らしの中での陶芸器をよく知る事から①素材の特性を学ぶ。②豊かなセンスを育む。③技術的な創作能力を育む。即、演習に入るが、講義、テキスト、プリント(資料)説明等並行して行う。出来るだけ皆と質問や意見の対話形式で進める。陶芸の手法についての説明(ろくろ、手びねり、タタラ作り、型作り、象嵌、かき落とし、彫刻、型押し、絵つけなど)しながら作品制作を行う。	
専門	被服	陶芸Ⅱ	工芸、クラフトの学び、また立体としての学びのひとつとして、陶芸を実習する。環境、暮らしの中での陶芸器をよく知る事から①素材の特性を学ぶ。②豊かなセンスを育む。③技術的な創作能力を育む。即、演習に入るが、講義、テキスト、プリント(資料)説明等並行して行う。陶芸Ⅰよりもさらに密度のある作品にチャレンジする。センスと技術において理解、成長が認められるかを問う。主として皿や茶碗、湯飲みなど自由制作だが、課題として花器(花瓶)を制作する。手法や絵つけは自由にするが、作品としての結実力を見る。	
専門	被服	ハンドクラフトⅠ	伝統的な手芸の基礎知識と技術を学びながら現代の服飾に合わせた創造力や発想を養い、2年次におけるファッションショーにて活用できる技を身につける。手芸の基礎知識と技術を実技指導しながら、実生活の中で使用できる作品を製作する。(刺繍)クロスステッチ、ビーズ刺繍、欧風刺繍をつかったの作品作り(マクラメ)基本の結び目から、ミサンガ・ベルト・バッグへと、ビーズを用いて応用していく。(コサージュ)“布を使った花”を製作。日常に使えるコサージュからインテリアとなるリースまで応用をきかせる。	
専門	被服	ハンドクラフトⅡ	ハンドクラフトⅠの基礎をふまえ、実用に向けて更に独創的で発展させた作品作りに取り組み、手工芸展出品作品や卒業作品として製作する。欧風刺繍の応用、ビーズ刺繍、その他の刺繍、実用的な作品(バッグ、アクセサリなど)、かぎ針による作品(レース編み、ストール)など、手法としては主に刺繍やかぎ針によるものとし、個人で自由に製作する。作品の形態は自由だが、卒業作品として相応しいものになっているかを評価する。製作過程での質問や相談には個別にアドバイスもする。	
専門	被服	アクセサリ	近年、ファッション小売業ではアパレル商品のみならず、アパレル商品とコーディネートするアクセサリ商品を仕入れ、品揃えすることが多くなっている。この授業では、はじめにファッション小売業にかかわりのある様々なアクセサリを解説し、その中でも特に「装身具」(ジュエリー、ネックレス・リングなどの狭義のアクセサリ)に注目し、いろいろな手法でいくつか製作してみる。アクセサリまで含めてトータルでコーディネートを考えられる力を養う。	
専門	生活造形	色彩学	色彩についての基本的な文法と理解と実践。コンピュータの優れた色変換機能を利用する。これにより色彩の実際を目で確かめつつ学習を進めることができる。テキストに文部省認定色彩検定3級程度の参考書を使用し、色彩の基礎的理解と資格取得を可能にする。また実践で必要となるコンピュータのモニタと印刷(DTP)の色の基本を理解する。(Photoshop使用)	
専門	生活造形	日本の芸術・文化	日本の芸術・文化の歴史的背景について学ぶ。日本の衣・食・住の文化は、古代、奈良時代、平安時代、鎌倉時代、室町時代、江戸時代、そして明治維新、更に第一次・第二次世界大戦で次々に変革を重ね、今、又コンピューターの時代へと突入している。その中で文化自体も自然淘汰されていった。そうした日本の芸術・文化の歴史をわかり易く解説する。課題に応じたプリントを与え、それを中心に講義していく。	

専門	生活造形	基礎デザイン	デザインにおける構成の仕組みについて、それを理解させるために構成要素の定義を中心に講義し、実証的意味から演習で色や形、材質や空間などの構成感覚を養うことを目的とする。又、デザイン表現技術は、現在造形におけるリアリズム表現として確固たる位置をもっている。グラフィックデザインとしても応用面は広く、その多様な表現手法を身につけさせる。又、デザインのための各種の技法的な課題を研究し、描写力をつけさせることを目的とする。課題に応じたプリントを与え、それを中心に講義及び演習を行う。	
専門	生活造形	デザイン表現	あらゆる造形表現の基礎感覚を養うため、形・色彩・変化・統一の関係を課題を通して、具体的にあるいは自律的な作品としてのアプローチを研究することを目的とする。又、パッケージ等の基礎訓練のための立方体・正四面体・円筒等の展開図と制作を行う。さらに、具体的な平面デザインとして、ファッションショーポスターの作成を行う。課題に応じたプリントを与え、それを中心に演習を行う。	
専門	生活造形	素描Ⅰ	全ての造形の基本である素描をとおして、基礎的な表現力や、形態の把握力などの育成に努め、グラフィックデザインや服飾デザインの要素のひとつとしての実技演習を行う。具体的には、角柱、円柱、球の形、明暗、材質、空間といったことの把握力、表現力を身につける。基本的な静物素描の実技実習を中心に授業を組み立てるが、クロッキーや図法も展開したい。	
専門	生活造形	素描Ⅱ	素描Ⅰでの基礎的な形態や題材から更に難度の高い複合のモチーフ等の表現力を養い、作品化する。具体的内容として、モチーフ設定(複合モチーフ、自由設定モチーフ)、ラフスケッチ、パネル貼り、作品制作と進み、最後に批評会を実施する。実技指導を中心にを行い、正確な表現力の育成と同時に、多様な表現方法を試みる。	
専門	生活造形	絵画Ⅰ	物の見方や表し方など、平面表現の基礎になる事柄について理解を深める。油彩画の特徴を理解させ、基礎的技能を修得させる。内容として、「表現とは何か」として講義を行い、油絵の基礎について視聴覚教材を使用しながら解説を行い、グリザイエフによる表現、静物モチーフ着彩と進める。講義を交えながら実技を中心とした教授を行う。	
専門	生活造形	絵画Ⅱ	西洋絵画通史を通して現代絵画の多様性を理解させる。テーマ設定(自由テーマ)とその効果的表現を探りながら、独自の作品を追求させる。内容として、スライドによる西洋絵画の流れ及び現代絵画の多様性、作品構想・下書き・エッチュード、エッチュードからタブローへ、油彩画制作と進める。このように講義及び実技を行う。	
専門	生活造形	デジタルアートⅠ	コンピュータを使用したアートの体験と制作により表現力を培う。1つの作品(今年度はブリューゲル「ネーデルランドの諺」)を解析しつつ、テクスチャデザインの代表的作例を演習することによって、「Photoshop」の表現機能をマスターする。また、水彩画や油絵など、アートの代表的分野の技法を疑似体験することによって、自分の表現に向かう足がかりとする。	
専門	生活造形	デジタルアートⅡ	コンピュータを使用したアートの探求により表現の幅を広げる。「Photoshop」の多数多様な機能を重ね合わせ、自分に合ったより高度な表現を試みる。とくに偶然性の呼び込み方法を試行する。また、絵画表現のしくみを探ることにより、イメージの醸成に役立てる。最後に自由制作を課し、デジタルアート表現の集大成として卒業制作とする。	
専門	生活造形	プリプレス概論	デザインや印刷の分野でデジタル化が進み、ほとんどの作業がコンピュータでの処理となってきた。この授業では、プリプレスで行われる作業及び技術について教授する。また、マッキントッシュコンピュータを使って自分の表現したいことを相手に正確に伝えるための基礎知識、技術をグラフィックソフトPhotoshopを使用して作品を制作していきながら学ぶ。テキストを使用し、Photoshopの基礎から応用を学び、写真の合成、イメージの表現、ペイント、色彩、レイアウトについても学ぶ。また、現代デザインについても学ぶ。	
専門	生活造形	DTP演習Ⅰ	マッキントッシュコンピュータを使用し、現在、広告代理店、印刷業界でデザイン企画に幅広く使用されているPhotoshop、Illustrator等のグラフィックソフトの実践的な活用法を学ぶとともに、デザイナーとして必要とされる知識・技術の習得を目指す。さらに、グラフィックソフトの応用を学び、制作から印刷、カラーイメージとレイアウトイメージについて学ぶ。Ⅰでは主に、小型の印刷物(チラシ、リーフレット、ダイレクトメール等)の制作を行う。	

専門	生活造形	DTP演習Ⅱ	マッキントッシュコンピュータを使用し、現在広告代理店、印刷業界でデザイン企画に幅広く使用されているPhotoshop、Illustrator等のグラフィックソフトの実践的な活用法を学ぶとともに、デザイナーとして必要とされる知識・技術の習得を目指す。さらに、グラフィックソフトの応用を学び、制作から印刷、カラーイメージとレイアウトイメージについて学ぶ。Ⅱでは、より実践的なチラシ、ポスターを制作する。	
専門	生活造形	デザイン論	グラフィックデザイナーとして必要とされる現代デザインの幅広い知識、技術について学ぶ。また、マッキントッシュコンピュータを使用し、デザイン企画に幅広く使用されているPhotoshopの基礎知識、技術を作品作りを通して学ぶ。テキストを使用し、Photoshopの基礎から応用を学び、写真の合成、ペイント色彩、レイアウトについても学ぶ。	
専門	生活造形	写真Ⅰ	広告代理店、印刷業界でのデザイン企画の中で写真を使ったレイアウトは大きくウエイトを占める。また、デザイナー自身が素材の収集として撮影を行うことも少なくない。そこで、写真を身近なものとして、幅広い表現ができるデザイナーの養成を行う。デジタルカメラを使用し、マッキントッシュに取り込み、加工し、自分自身を表現することを学ぶ。	
専門	生活造形	写真Ⅱ	広告代理店、印刷業界でのデザイン企画の中で写真を使ったレイアウトは大きくウエイトを占める。また、デザイナー自身が素材の収集として撮影を行うことも少なくない。そこで、写真を身近なものとして、幅広い表現ができるデザイナーの養成を行う。Ⅰに続きデジタルカメラを使用した撮影に加え、より高度なフレーミング、ライティング、フォトタッチについて学ぶ。	
専門	生活造形	イラストレーションⅠ	アナログ(手描き)イラストレーションの基礎知識、実技の習得を行う。グラフィック(広告)に於けるイラストレーションの考え方、捉え方、見せ方、デジタル(CG&design)への応用を理解させる事を目的とする。内容としては、アクリル絵具等、画材に関する知識、使い方から、表現方法、作品制作のプランニングと考え方と進み、具体的な作品制作を行う。	
専門	生活造形	イラストレーションⅡ	アナログ(手描き)イラストレーションの基礎知識、実技の習得を行う。グラフィック(広告)に於けるイラストレーションの考え方、捉え方、見せ方、デジタル(CG&design)への応用を理解させる事を目的とする。内容としては、Ⅰに続き、アクリル絵具等、画材に関する知識、使い方から、表現方法、作品制作のプランニングと考え方と進み、より実践的な作品としてCDジャケットイラスト制作を行う。	
専門	生活造形	ウェブプログラミング演習Ⅰ	Webページによる情報提供はすでに一般的なものとなり、文字だけでなく、写真、動画、音声などを組み合わせることができることから、様々な可能性を持った媒体の一つである。この授業では、HTML、CSSを中心に、基礎的なWebページの制作、サイト運営に必要な知識・技術の習得を目指す。プリント等を使用しHTML、CSSによるWebページ構築の基礎を学び、実習を通してWebページの企画、制作、サイト運営に必要な知識と技術を身につける。	
専門	生活造形	ウェブプログラミング演習Ⅱ	Webページによる情報提供はすでに一般的なものとなり、文字だけでなく、写真、動画、音声などを組み合わせることができることから、様々な可能性を持った媒体の一つである。この授業では、HTML、CSSを中心に、実践的なWebページの制作、サイト運営に必要な知識・技術の習得を目指す。各自設定したテーマをもとにしたWebページ制作を通して、Webページの企画、制作、サイト運営に必要な知識と技術を身につける。	
専門	生活造形	ウェブデザイン演習Ⅰ	Web標準に準拠したサイトデザインの習得を行う。Web2.0の核であるAjax(エイジャックス)の技術を組み込みながら、XHTML+CSSによるWeb標準デザインを学習する。「学園紹介」という身近なサイトを実践的に作成することで、Webデザインの企画、制作、運営までを理解する。また、ユーザビリティとは何か、SEMとは何かといった観点からも授業を行う。	
専門	生活造形	ウェブデザイン演習Ⅱ	Web標準ページのインタラクティブ性を高める。Web2.0の核であるAjax(エイジャックス)の技術を組み込みながら、Web標準XHTML+CSSにCGIやデータベースなどのプログラミングを加えることにより、Webページのインタラクティブ性を高める。また、卒業制作として、より実践的な課題をテーマとすることによって、Webデザイナーの役割を総合的に理解する。	

専門	生活造形	マルチメディア演習	動く映像の作成を通してのマルチメディアの体験と理解を行う。マルチメディア演習では動く映像や音に取り組む。画像を連続させることで動くモーショングラフィックスや、オリジナル曲の作成、そしてビデオ作品(Rainbow)を作成し、それらを関連ソフトによってまとめることにより、マルチメディアの表現と理解を深める。	
専門	生活造形	3DCG演習	3DCGの基礎的知識から、3Dソフトウェアを用いた表現までを学ぶ。内容としては、3DCGの現状とその歴史からはじまり、3DCGについての講義を行う。そして、3Dソフトウェアを用いたモデリング、隠線処理・隠面消去、シェーディング、テクスチャマッピング、レンダリングと進み、実際に作品制作を行うことで実践的な知識・技術を身につけ、様々な分野で活躍できる人材の育成を目的とする。授業はテキストを用いて行うが、適宜プリントを配布し授業を進める。	
専門	生活造形	動画演習	グラフィックデザイナーの活躍する分野は広がり、ビデオ映像やモーショングラフィックスといった動画もその一つとなってきている。動画(映像・アニメーション)の制作において必要とされる知識と技術の習得を行う。別府溝部学園短期大学CMの制作、卒業制作のテーマをもとにしたオリジナル動画制作、公共広告CM制作を通して、必要とされる知識と技術を身につける。	
専門	生活造形	制作実習Ⅰ	マッキントッシュコンピュータを使用し、Photoshop、Illustrator等のグラフィックソフトを駆使し、卒業制作コース作品展に向け各自テーマを設定しDTP作品を制作する。各自テーマを設定した作品制作を通し、コンピュータを使った表現の応用を学び、制作から印刷、カラーイメージとレイアウトイメージについて学ぶ。グラフィックデザイナーとしての自覚を持つことも目的とする。	
専門	生活造形	制作実習Ⅱ	マッキントッシュコンピュータを使用し、Photoshop、Illustrator等のグラフィックソフトを駆使し、卒業制作コース作品展に向け各自テーマを設定しDTP作品、及びテーマに沿った造形物を制作する。各自テーマを設定した作品制作を通し、コンピュータを使った表現の応用を学び、制作から印刷、カラーイメージとレイアウトイメージについて学ぶ。グラフィックデザイナーとしての自覚を持つことも目的とする。	
専門	生活造形	フォトレタッチソフトウェア演習	デザイン、印刷、出版業界では、「DTP」というシステムによって印刷物が制作されている。これは印刷物をコンピュータにより制作するという意味で、グラフィックデザイナーにとってコンピュータによる表現が必要不可欠となっている。この授業では、DTPで一般的に使用されているドローグラフィックソフトウェアのAdobe Illustratorについて学び、DTPで必要とされる知識と技術の習得をめざす。	
専門	生活造形	ドローグラフィックソフトウェア演習	デザイン、印刷、出版業界ではデジタル化が進み、多くの作業においてコンピュータが活躍している。この授業では、グラフィックデザイン、Webデザインにおいて広く使用されているフォトレタッチソフトのAdobe Photoshopについて学び、Photoshopを使ってイメージを自由に表現するための知識と技術の習得を行う。テキストを使用し、Photoshopの基礎から応用を学ぶ。また、検定試験を取り入れ、スキルの確認を行う。	
専門	生活造形	レイアウトソフトウェア演習	デザイン、印刷、出版業界では、「DTP」というシステムによって印刷物が制作されている。これは印刷物をコンピュータにより制作するという意味で、グラフィックデザイナーにとってコンピュータによる表現が必要不可欠となっている。この授業では、具体的なDTP、プリプレスの工程を実践することで、即戦力としての知識と技術を習得するとともに、DTPソフト、Adobe InDesignを用いた表現についても学ぶ。	
専門	生活造形	インテリアコーディネート	インテリアは豊かな生活を送る上で欠くことのできない要素の一つである。そのようなインテリアの背景を理解し、自分の発想を生かしたスペースづくりのできる人材の育成を行う。「インテリアとは」からはじまり、色彩、素材、空間、開口部(マド装飾)、家具、和室、照明・採光とすすめる。テキストを中心に講義を進めるが、必要に応じて資料その他を利用する。	
専門	生活造形	コピーライティング	コピーライティングの概要を知ることにより、デザイン全体像の把握とクリエイティブ作業の楽しさとその持つ意味を理解させる。講義および実習を行う。コピーライティングの入り口から実作業として、ポスター、ラジオ、TVCMのコピーを制作する。最後に、別府溝部学園短期大学TVCM30"のプランニングを行い、絵コンテを仕上げる。	

専門	生活造形	プランニング	広告制作、広告企画を行うグラフィックデザイナーにとって、プランニング力は重要な能力の一つである。必要な情報を正しく収集・分析し、その情報をもとに自分自身やそのグループとしての考えやアイデアを創出する技術を学ぶ。各発送技法ごとにその解説と演習をセットで行う。また、グループ発想法の場合にはグループ単位での学習とする。	
専門	食物	栄養学	食生活を介して健康快適で、自己実現と健全な子孫を残し不老長寿の豊かな日常生活を営むために必要な知識を究明習得し、それを実践していく学問である。生体の形態や機能と食物の化学的、物理的、生物学的な特性など基礎的知識の理解に従って、食物摂取に伴う人体の成長、成熟、老化の変化と食物成分の体内代謝、特に五大栄養素の消化吸收機構・エネルギー代謝などを通じて、最新の研究成果をふまえて理解を深める。	
専門	食物	食品衛生学	食生活という行為のためには、食品の安全性をめきに語ることはできません。そこで、この授業では、食品に起因する健康障害の発生を防止するための知識と技術を学びます。身近な現象を例にあげながら、私たちの行動パターンをチェックしていきます。そのため、学生とディスカッションしながら、学んでいきます。また、ビデオを参考にして、視覚から学びます。	
専門	食物	調理Ⅰ	長い間の食生活の歴史をふり返って、食文化を見つめ、食のあり方を考えるとともに、調理のもつ意義・調理の理論を科学的に学び、調理の疑問や技術を実生活で生かせる様にする。又、新しい時代を見据えて、食の安全、環境問題等も学習する。日本料理の伝統的な調理法やそのコツ、基本的な手法等、基礎的知識・技術をしっかり習熟できるよう指導する。	
専門	食物	調理Ⅱ	よりよい調理をするために、十分な基礎知識を把握させ、調理法の実際を修得させる。又、望ましい食事の為に役立つ基礎知識や食生活全般にわたっての総合的な判断力・実践力が身につくように指導する。食の安全についても学習させる。日本料理・西洋料理・中国料理の基本的な手法、基礎的知識・技術を習熟できるよう指導する。実習をデモンストレーションにより把握させた後、班別に実習。	
専門	生活医療介護	公衆衛生学Ⅰ	戦後、わが国は産業優先の政策で世界でも有数の経済大国になってきたが、人口の都市集中化、交通や産業の公害化など環境破壊が進行し、人間の健康生活にも悪い影響が生じている。現在、産業優先から環境整備、厚生福祉に移りつつある。いろいろな保健問題の解決を図り社会保障、福祉を理解し社会生活を送る中で個人や集団の健康の保持、増進を図るために必要な環境・疾病・制度、組織と活動、統計等の公衆衛生の基礎を学習する。	
専門	生活医療介護	公衆衛生学Ⅱ	社会や環境が人々の健康にどうかかわりあっているのか、あるいは人間の健康保持増進するための社会や環境はどうあるべきか、人間を生態系に考え、社会や環境と健康の関係を理解し、健康増進や疾病予防の考えや健康情報利用などについて学習させる。公衆衛生の意義を唱え、行政や法規の現状を交え授業を展開する。Ⅱでは、各保健制度の概要や公衆衛生活動の各論にまで及び具体的に展開する。	
専門	生活医療介護	解剖学	人体の構造と機能について、解剖学の正しい知識を学び、生命活動の不思議と人体の絶妙なしくみを理解する。細胞と組織の働きや、運動器・神経系・感覚系・消化器系・呼吸器系と学習をすすめる。また、この学習を通して学生の栄養学、食品学の基礎学習と発展的研究能力を培う。テキストと資料プリントを併用して講義を行い、また、必要に応じて視聴覚教材を用いて講義を進める。	
専門	生活医療介護	生理学	人体の構造について、生理学の正しい知識を学び、生命活動の不思議と人体の絶妙なしくみを理解する。人体の生理機能は内分泌系・循環器系・泌尿器系と分かれその機能を学ぶ。人間は生体リズムというものがあり、生命の不思議を論じる。また、この学習を通して栄養学、食品学の基礎学習と発展的研究能力を培う。	

専門	生活医療 介護	医療概論	「いのち」についての基本的認識を前提に「医療」とは何かについて歴史的社会的発展経過をたどりながら講義をする。医療と社会の関係についてまた、病院の使命と機能、倫理を事務的立場から教授する。めまぐるしく変転する医療界における種々の現実的事例を欧米諸国の現状と比較しながら「医療の基礎概念と基礎的知識」を修得させる。医療の現状と将来への構想を示唆し本講義の結びとする。	
専門	生活医療 介護	医療事務総論	「事務」の基本概念と「医療事務」「医療情報処理」「医療秘書」について医療業務の基本を修得させる。社会保障と医療保障制度について・医療機関で発生する情報処理管理について・医療保険請求事務の概要について・病院、医院における秘書的業務について学ぶ。窓口業務が日々の業務となる医療事務士の仕事を具体化し提示する。外来診療・入院の診療報酬の仕組みを学習する。以上の知識を修得させることにより将来、医療事務士として及び医療専門職群の業務補佐ができる素養を身につけさせることを目標としたい。	
専門	生活医療 介護	医療秘書実務	「いのち」についての基本的認識を前提に「医療」とは何かについて歴史的社会的発展経過をたどりながら講義をする。医療と社会の関係についてまた、病院の使命と機能、倫理を事務的立場から教授する。めまぐるしく変転する医療界における種々の現実的事例を欧米諸国の現状と比較しながら「医療の基礎概念と基礎的知識」を修得させる。医療の現状と将来への構想を示唆し本講義の結びとする。	
専門	生活医療 介護	医療事務演習Ⅰ	診療を受けた際に支払う医療費の内訳の理解を目的とした学習内容とする。この演習では、診療報酬の請求事務をこれから勉強する学生に対して、診療報酬の点数の解釈とレセプト(診療報酬明細書)の記載方法を中心として行う。わが国の医療制度の概要から窓口事務から請求支払までの流れを念頭に実務に入っていく。診療報酬明細書(レセプト)外枠の記載要領を示し、実際に記載できるよう訓練していく。実務で使用する診療報酬点数表を用いて、診察料(初診・再診)投薬料・注射料・処置料の説明し、計算練習と明細書の記載練習を繰り返す。	
専門	生活医療 介護	医療事務演習Ⅱ	診療を受けた際に支払う医療費の内訳の理解を目的とした学習内容とする。この演習は、「医療事務演習Ⅰ」に続き、診療報酬の点数の解釈と診療報酬明細書の記載方法を中心として行う。1講では「医療事務演習Ⅰ」の復習を行う。各診療区分の説明を引き続き行うが、次の通りである。手術料・検査料・画像診断(レントゲン)・老人医療の各点数の計算方法・レセプト記載保法を修得する。「医療事務演習Ⅰ・Ⅱ」で勉強した事を元に会計欄とレセプト記載を修得する。	
専門	生活医療 介護	医療事務演習Ⅲ	診療を受けた際に支払う医療費の内訳の理解を目的とした学習内容とする。本演習は、「医療事務演習Ⅰ・Ⅱ」に続き、診療報酬の点数の解釈と診療報酬明細書の記載方法を中心に行う。又、更に病院、医院にすぐ対応できるよう指導する。1. 検査料の点数解釈と明細書記入方法2. 入院料(特定入院料・食事代)の説明をさらに詳しく行う。カルテ情報からの例題をだし、会計欄記入とレセプトの記載練習を行う。また医療事務実習事前の指導として、医療保険制度のあらましを再度身につける。	
専門	生活医療 介護	医療事務演習Ⅳ	診療を受けた際に支払う医療費の内訳の理解を目的とした学習内容とする。本演習は、「医療事務演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」に続き、診療報酬の点数の解釈と診療報酬明細書の記載方法を中心に行う。又、更に病院、医院にすぐ対応できる所まで指導する。「医療事務演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の総復習及び、診療報酬明細書の記載練習とパソコンでの請求書作成を例題で完成させる。パソコン演習では医事コンピュータ演習を踏まえた上での指導を行う。特に入院問題をパソコンで入力し行うが、手書きのレセプトと照らし合わせ相違点を見つけさせ学習を深める。	
専門	生活医療 介護	医事コンピュータ	医療機関でのパソコン普及は加速度的に進んでいる。医師が書いたカルテから診療報酬算定の対象となる医療行為を算定し正確なレセプトを作成することは医療機関における事務処理で最も重要な仕事である。医療事務を学ぶ者は手書きレセプト作成練習によってマスターする事は勿論だが、本講では実際の業務で使用されているレセプトコンピュータシステムを用いて授業を展開する。医療事務演習Ⅰ・Ⅱを踏まえカルテをから読み取れる情報を基に、新患登録から会計業務までの一連の流れを体得する。	

専門	生活医療 介護	医療秘書実務実習Ⅰ	医療秘書実務実習は、医療施設における医事及び診療実務等を研修し、病院の業務全般の流れを理解させることによって、医療秘書の役割と実務を基本的に体得させるために実施する。次の内容を基準とするが、病院の規模や経営方針の違いによって一律には規定できないので、実習内容はこれを参考にして、実習受け入れ病院に一任する。1) 病院組織の総合的理解2) 医事課業務の実習(受付、診察券の発行、カルテの作成、配布、回収、レセプトの作成など)3) 病棟業務の実習4) 検査業務の実習5) 診療秘書の実習	
専門	生活医療 介護	医療秘書実務実習Ⅱ	医療秘書実務実習は、医療施設における医事及び診療実務等を研修し、病院の業務全般の流れを理解させることによって、医療秘書の役割と実務を基本的に体得させるために実施する。次の内容を基準とするが、病院の規模や経営方針の違いによって一律には規定できないので、実習内容はこれを参考にして、実習受け入れ病院に一任する。1) 病院組織の総合的理解2) 医事課業務の実習(受付、診察券の発行、カルテの作成、配布、回収、レセプトの作成など)3) 病棟業務の実習4) 検査業務の実習5) 診療秘書の実習	
専門	生活医療 介護	臨床医学概論Ⅰ	生活する中で必要な病気に関する知識、特に内科系の主要な疾患の概略(症状・検査・診断・治療)を知ることを目的とする。また、病名や専門用語の読み・書きも身につけることを目的としている。実務者の日頃の業務に役立つよう一般的に使われている略字等も用いて説明を行う。1. 内科疾患の基礎知識 2. 感染症…病原体と疾患3. 感染症…臓器別感染症4. 呼吸器疾患5. 循環器疾患6. 腎疾患7. 血液疾患8. 免疫疾患9. 消化器疾患10. 内分泌・代謝疾患11. 脳神経疾患12～13. 心身症とストレス関連疾患14. 精神疾患を理解してもらう。15. 試験評価	
専門	生活医療 介護	臨床医学概論Ⅱ	生活する中で必要な病気に関する知識、特に外科系の主要な疾患の概略(症状・検査・診断・治療)を知ることを目的とする。また、小児科・産婦人科、感覚器疾患(眼科・皮膚科・耳鼻咽喉科)も含む。外科系の病名や専門用語の読み・書きも身につけることを目的としている。実務者の日頃の業務に役立つよう一般的に使われている略字等も用いて説明を行う。1. 外科総論2. 外科領域疾患の診断と治療(1)3. 外科領域疾患の診断と治療(2)4. 整形外科領域疾患と治療5. 泌尿器科疾患の診断と治療6. 画像診断と放射線治療を理解してもらう。	
専門	生活医療 介護	病名コーディング演習Ⅰ	病名コーディングとは、異なる国や地域から、異なる時点で集計された死亡や疾病データの記録・分析、解釈及び比較を行うため世界保健機関が作成した国際統計分類-ICDのことで、近年、わが国の医療機関でもこの方法がとられ診療録の管理等に活用されている。演習ⅠではICD-10の基礎知識の習得を目指す。特に演習問題を中心にすすめるが、適宜ディスカッションする。ICD-10の注釈・略語・記号の意味を理解し、コーディングの手順を修得する。	
専門	生活医療 介護	病名コーディング演習Ⅱ	Ⅰと同様、演習問題を中心に授業を進める。ICD-10の基礎知識の習得を目指す。各論に入るが各疾病のコードの算定方法を実際にパソコンを用いて体得する。高血圧・「陳旧性」・産科関連コード・損傷・中毒・外因コード・保険サービスの利用・主要病態の選択・主要病態の選択について授業を展開する。また、毎回のレポート提出により知識を補足する。	
専門	生活医療 介護	診療情報管理論Ⅰ	診療情報管理の概要とその意義を理解する。2005年4月から個人情報保護法が完全施行された事をうけ、診療情報のあり方と医療の質に観点をおいて学習する。医療の成立における社会資源の必要性を理解してもらい、医療関連職種である「人的資源」、医療施設や設備、機器、薬剤、医療資材などの「物的資源」を具体的に理解することが目的である。わが国の医療提供システムの特徴を知り、特徴的なわが国の医療保険制度を理解し医療の実務に対応するため知識を充実させることが目的である。診療情報管理とはどのような業務なのか医療機関で何を担っていくのか考えて授業に臨んでほしい。	
専門	生活医療 介護	診療情報管理論Ⅱ	「病院の宝」と言われる診療録。この診療録の情報がどのような方法で収集され院内でどのように活用されていくのか、また診療情報管理室において、診療情報管理士が行うさまざまな業務や役割、他部門とのかわりについての大切さを深く理解させる。診療記録の種類と内容では日本の医療機関の管理現状や用紙の種類を提示して説明をする。近年では診療記録の電子化への対応が広がり診療情報管理の必要性が高まってきた。その事務スタッフ養成を目指す。	

専門	生活医療 介護	医学・医療用語	生活する中で必要な病気に関する知識、特に内科系の主要な疾患の概略(症状・検査・診断・治療)を知ることとする。また、病名や専門用語の読み・書きも身につけることを目的としている。実務者の日頃の業務に役立つよう一般的に使われている略字等も用いて説明を行う。1. 内科疾患の基礎知識 2. 感染症…病原体と疾患3. 感染症…臓器別感染症4. 呼吸器疾患5. 循環器疾患6. 腎疾患7. 血液疾患8. 免疫疾患9. 消化器疾患10. 内分泌・代謝疾患11. 脳神経疾患12～13. 心身症とストレス関連疾患14. 精神疾患を理解してもらう。15. 試験評価	
専門	生活医療 介護	薬と検査	生体に何らかの変化をおこさせる化学物質はすべて薬物とみなす。薬物と毒物の両者には明確な区別がつけられず用量・用法の差などにより有益と有害に変わることが多い。以上の理解にたつて薬物と生体との相互作用を研究対象とする。薬理学の概念及び医薬品の管理、末梢神経作用薬、中枢神経作用薬、循環器系作用薬、抗炎症薬、呼吸器系作用薬、消化器系作用薬、抗感染症薬、抗悪性腫瘍薬等について、基本的事項を学ぶ。	
専門	生活医療 介護	基礎医学	基礎的医学の全般的な知識を習得する。また常識として知っていなければならない内臓の働きと疾病について講義をする。1. 人体の構成2. 循環器系、呼吸器系3. 消化器系、内分泌系、代謝4. 泌尿器・生殖器、感染症、免疫、アレルギー5. 脳神経系、感覚器系6. 筋・骨格系、血液に及ぶ。	
専門	生活医療 介護	看護概論	○ライフサイクルと保健・医療・福祉の現状から、看護・介護の基礎知識を学ぶ。○高齢者の変化に対応できる観察視点や技法を身につけ、医療・保健などとの連携を学ぶ。○看護・介護職として求められる職業倫理を学ぶ。○看護理論・看護の定義を示し看護の本質に迫る。○看護の歴史を振り返り、これからの看護とは何かを考える。○看護の対象者への理解を深めるための知識を学ぶ○在宅看護の基礎知識・リハビリテーション医療の基礎知識を修得する。○保健医療福祉システムの現状と保健医療対策の現状○看護従事者の健康は必須であり、対処法を学ぶ。	
専門	生活医療 介護	介護概論	介護の倫理と原則、歴史について学ばせる。また、老人や障害者の自立的な生活維持に対する介護(援助者)の役割やコミュニケーションの技法等、記録と情報の共有化の技法について学ばせる。更に、介護活動の場に応じた介護の目的及び内容を理解させる。介護活動の場に応じた利用者の自立支援と介護技法の用い方及び住生活環境の整備について学ばせる。また、身体・健康状態の変化に対処できる能力を養い、同時に介護を行う際に遭遇しやすい事故時の対処法について学ばせる。更に、医療・看護対応時及び与薬時における各保健医療関係者・機関との連携と協力のあり方について理解させる。	
専門	生活医療 介護	介護保険	高齢化社会の到来をとめない、介護保険制度が導入され、介護をはじめ高齢者福祉サービスの多くは介護保険制度に基づいて提供されている。医療や福祉の世界を目指す者にとっては、介護保険法や介護保険の仕組みを理解し実践に生かすことが求められている。授業では、プリントや新聞記事を使用しながら、介護保険法や介護保険の仕組みが理解できるように進めていく。また介護保険を取り巻く最新の社会情勢についても述べていきたい。	
専門	生活医療 介護	介護技術	家庭生活の基盤となる健康管理、健康生活の知識、健康障害時の看護について、基礎的な技術の習得を目指す。介護の基本的技術であるコミュニケーションの技法を習得させ、その原理を理解させる。また、状態の変化の確認と不調の兆しの発見の技法として眠り方や目覚めの状態の変化、体温・脈拍・呼吸・皮膚の状態の変化、嘔下の状態や排泄物の変化、状態に対する理解力・判断力の変化、感情の変化、視覚・聴覚及び知覚の変化、姿勢や動作能力の変化等を学ぶ。	
専門	生活医療 介護	介護事務演習	介護保険の概要について学習する。介護保険制度のしくみから介護報酬の算定、又、介護レセプト(請求)の記入方法を勉強していく。介護保険制度のしくみから介護報酬の算定方法を説明する。さまざまな状況での介護レセプト(請求)の記入方法を勉強する。また医療保険、介護保険の関わりを理解してもらう。例題を解くことにより実力を身につけるようにする。	

専門	生活医療 介護	手話Ⅰ	聴覚障害者とのコミュニケーション手段としての手話の初歩的技術の習得を図ることにより、聴覚障害者福祉及び障害者全体の理解の促進を図る。聴覚障害の基礎知識手話の基礎知識を習得する。また聴覚障害者の日常生活を知り場面に応じた表現基礎学習・指文字表現を練習する。名前の表現・家族の表現・趣味の表現・年齢・誕生日の表現・仕事の表現・住所の表現を習得する。手話コーラスの習得し披露する。	
専門	生活医療 介護	手話Ⅱ	基本的には、指定テキストを中心に授業を進めるが、実践ロールプレイを盛り込み、適宜関連資料を配布する。主に、手話による表現(対話の基礎練習)曜日・時間表現(対話の基礎練習)疑問詞表現、手話による表現(会話練習)家族との会話、手話による表現(会話練習)医療場面での会話、手話による表現(会話練習)教育場面での会話聴覚障害者福祉の学習をする。更に手話コーラスによる表現力レベルアップを図る。授業の終盤は手話劇の練習を行い手話劇の発表をする。	
専門	生活医療 介護	老人心理学	高齢社会を迎え、老人福祉・介護の制度的充実に向けて様々な取り組みが為されている。こうした制度的対応と同時に、老人関連施設で働く職員一人ひとりの科学的な知識と心理的理解の力が重要であり、また期待されてもいる。介護者の心理と高齢者への理解を深める事が重要である。本講義では、まず健康な高齢者の特性や能力を知り、次に高齢期の精神疾患や認知症の知識とその心理的理解や対応について学ぶ。心の理解とケアについて知ってもらう。	
専門	生活経営	情報ネットワーク論	インターネットのWWWホームページ(Webページ)の仕組みを理解する。Webの特徴を知り、HTML文書編集やフレームページを使用し授業を展開する。Webサイトでは情報倫理やインターネット上でのプライバシー、著作権、肖像権など十分理解し作成をしなければならない。作成を通し、インターネット上での情報発信方法を理解する。	
専門	生活経営	システム設計	コンピューティングの技術を用いたシステムを設計、構築について学ぶ。構築、設計方法を学習していく中でシステムの効率化、メリットを理解し、修得することを目的とする。講義では、パソコンの仕組みから、Webを利用した情報システムやExcelを利用した財務システムなど、様々なシステムについて学習する。	
専門	生活経営	プレゼンテーション概論	第三者にいかにかわりやすく伝え、理解してもらうかがプレゼンテーションの目的である。企画を提案するあるいは発表したり主張したりするプレゼンでは、文章やオーラルによるコミュニケーションの限界を知り、続いてさまざまな事象をチャートにより表現することでこそ深い理解を得られることが重要である。本講義ではそのためのテクニックを学ぶ。具体的にオーラルコミュニケーション実習(図形伝達ゲーム)でことばによる意思疎通の限界を感じてもらい、文章のチャート化演習で対比し情報伝達能力を養う。	
専門	生活経営	プレゼンテーション演習Ⅰ	プレゼンテーションの意義・目的・内容・すすめ方・ツールの活用などについて学び、特に口頭表現や構成について演習を行い、プレゼンテーションの基礎を学ぶ。自己紹介作成をしてもらい、発表、相互評価と自己の研究を目的とする。プレゼンテーションはいかに人を自分の話に引き寄せるかで効果的な話し方について・表現技術の構成要素について構成パターンも考える。課題を与え、実演用のプレゼンテーションの作成発表も行う。	
専門	生活経営	プレゼンテーション演習Ⅱ	企画書や報告書等の形態を例として、スムーズなコミュニケーションのための図解表現を学ぶ。プレゼンテーションの事例検証しビジネスにおける報告書・企画書の役割を学ぶ。プレゼンテーションソフトの基本的な操作を習得し文書のビジュアル化、図解表現化(グラフ・表のタイプ別の利用法)を目指す。実際に、アンケート調査事例に基づいた報告書作成実習を行う。ビジネスシーンにおける企画書作成へのステップへ移り、各自作成した企画書のプレゼンテーションの研究発表を行う	
専門	生活経営	プレゼンテーション演習Ⅲ	コンピュータ等の情報機器が持つ特性を利用しながら、いかに効果的なプレゼンテーションをおこなうか、その考え方や技法について演習を通じながら学ぶ事を目的とする。課題に即し実際に発表のための資料を作成すると同時に、グループでのプレゼンテーションを行う。また、学生同志の相互評価を積極的に取り入れ、プレゼンテーションの能力向上をはかるようにする。	

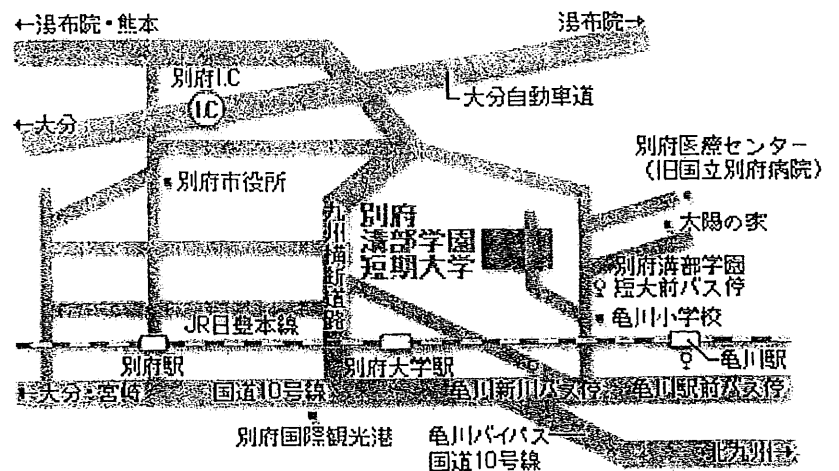
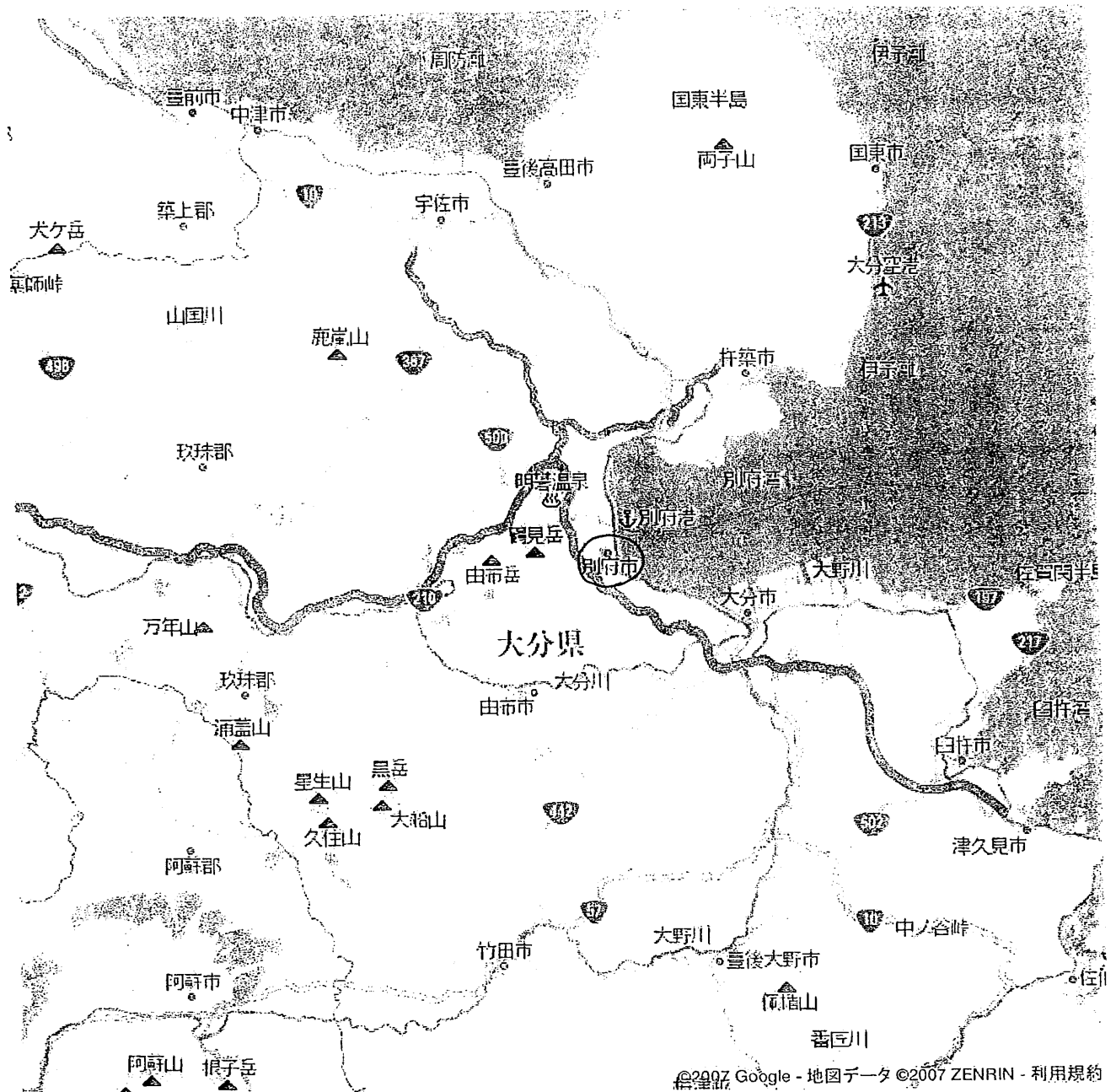
専門	生活経営	情報処理演習	パソコンの代表的なソフトウェアであるWORDを使って文書作成の基礎を学び、日本語ワープロ検定試験、文書デザイン検定試験2、3級合格を目指す。また、実際に企業で使用されている資料などを作成してもらうことで、応用的な技能も身につける。講師に倣ってパソコンを実際に操作しながら基本操作を学び、練習問題を繰り返し行うことで習得する。初心者に合わせて授業構成になっている。	
専門	生活経営	表計算演習Ⅰ	パソコンの文書作成ソフト(EXCEL)を使って表計算の基礎～応用までを学び、情報処理検定2、3級合格を目指す。画面構成の説明から始まり、IF関数の応用的な操作方法までを学習する。講師に倣ってパソコンを実際に操作しながら基本操作を学び、その都度、練習問題を繰り返し行うという授業方式をとる。初心者に合わせて授業構成になっている。	
専門	生活経営	表計算演習Ⅱ	エクセルを利用した膨大なデータの管理・処理方法を学び、データベースの活用機能能力を身につける。実務の場で効率よく正確に処理を行うことができるように即戦力を養うことを目的とする。ある程度パソコンを扱える学生を対象とした講義内容になっている。関数の応用から、データベースの応用操作までを学ぶ。講師に倣ってパソコンを実際に操作しながら基本操作を学び、その都度、練習問題を繰り返し行うという授業方式をとる。	
専門	生活経営	ビジネス実務総論	厳しいビジネス環境の中、ビジネスワーカーには現実のビジネス現場に対応するべく価値、または自己表現を身につける必要がある。自分自身をしっかりと見つめ、社会へふみだすエネルギーの源を育成することがねらい。テキストから離れ、自己を知る為、分析、グループディスカッション、または自己PRをとり入れることにより自己表現できるようにする。自己紹介、長所・短所などから自分を知る、人から見た自分・第一印象、継続経験、自己PR、模擬面接、グループディスカッション、企業研究、志望動機、履歴書のかき方など。	
専門	生活経営	ビジネス実務演習Ⅰ	社会人としての自覚、常識やマナー、ビジネスに関する基礎的な知識などを学習することにより、現在の企業の求める複合的能力をもった人材育成を目的とする。テキストによる講義および演習を中心に授業を進める。ロールプレイング(実践的実習)なども含め習得していただく。1.社会人としての自覚 2.社会適性 3.印象の重要性 4.日常業務の心構え 5.立ち居振る舞い 6.敬語の基本 7.敬語の使い方 8～9. 電話応対 10～11.来客応対 11～12.ホスピタリティマインド 13～14.冠婚葬祭のマナー 15. 総合学習	
専門	生活経営	ビジネス実務演習Ⅱ	ビジネス実務演習Ⅰ、または総論をベースに実社会のビジネス現場に対応できる人材育成を目的とする。テキストによる講義および演習、ロールプレイング(実践的実習)を随時行い、ビジネス現場での即戦的能力を習得していただく。1. 立ち居振る舞い 2. 敬語 3～4. 電話応対 5～6. 来客応対 7. 自己PR 8. 企業研究 9. 志望動機 10. 模擬面接、一般質問 11. グループディスカッション、ディベート 12～13. ホスピタリティマインド 14. 冠婚葬祭のマナーなど 15. 総合学習	
専門	生活経営	事務管理	事務管理の目的は、果たすべき本来的な務めである業務機能を適切に果たせるように事務の仕組みをシステム化する事である。管理の内容としては、人、文書、事務の方法・手順、場所、事務処理時間等があげられオフィスの分析・改善・標準化を図るため重要な仕事といえる。この講義ではビジネス社会における事務管理の本質を体系的に学び、実社会に役立つ実務知識を取得する。特に情報と事務管理の整合性をマスターする。	
専門	生活経営	簿記Ⅰ	簿記とは何かという基礎概念から決算手続きまで、順を追って学習し簿記の基本ルール・知識を身につける。1. 簿記とは。簿記の目的と会計期間2. 簿記の要素・簿記上の取引3. 貸借対照表と損益計算書4. 取引と仕訳、勘定記入5. 取引と仕訳、勘定記入6. 取引と仕訳、勘定記入7. 取引と仕訳、勘定記入8. 勘定転記と試算表の作成9. 期中処理10. 当座預金と小切手11. 手形取引12. 商品売買(三分法)13. 決算の仕組みと授業を展開する。14試験評価 15総合学習	

専門	生活経営	簿記Ⅱ	簿記Ⅰの基礎知識を基に各種経済取引の会計処理を学習し、資格取得を目標とする。1. 現金預金取引(小口現金、現金過不足、当座借り越し)2. 有価証券の取引3. 手形の取引(割引・不渡り)4. 商品売買の取引(3分法、商品有高帳)5. 固定資産の取引6～7. その他の取引8～10. 伝票式会計11～13. 決算と財務諸表の作成で授業を進め、さらに上級の資格を目指す。14試験評価 15. 総合学習	
専門	生活経営	実用英会話	英語の使用能力、特に、聞き取り能力の向上を目指し、活動を通じて英語表現や文法、文化全般に対する理解と適応力を獲得させる。視聴覚機器を活用して、映画を教材にした演習を進め、聞き取る作業、内容を理解する作業、英語を身につける作業、そしてできれば学習した英語を実際に使ってみる作業を行いたい。意思伝達の手段として英語を使い、他国の人々と交流を円滑、または興味あるものにする事で少しでも学生にグローバルな視点からの判断力を養う指導。	
専門	生活経営	ビジネス文書	企業におけるビジネス文書の位置づけと重要性を理解し、実社会に役立つ実力を身につける。演習を適宜行いながら講義を進めるが、板書・口頭説明をきちんとノートし、演習と理解度テストに対応することで実力を身につける。1. 導入・仕事文の書き方 2. ビジネスと文書 3～4. ビジネス文書の基本 5～6. ビジネス文書の表記と表現 7～9. 社内文書の作り方 9～10. 社外文書の作り方 11. ファILINGシステム、ビジネスとグラフのかき方 12～13. 編集・用紙・印刷の知識 14. 郵便の知識 など 15. 試験評価	
専門	生活経営	現代社会論	現代社会の風潮・出来事・国際問題・地球環境問題・マスコミなどをジャーナリストの視点から分析・解説する。多様な価値観が存在する社会、また国際化が進む時代に対応できる教養を高めることに力点を置きたい。講義を中心に授業を進める。時にはビデオの使用や放送局・高度情報通信などの見学も考える。情報化社会、ジャーナリズム、マスメディアの変遷と現状、やらせ問題、メディアリテラシー・マルチメディアの時代、公害と地球環境問題、核兵器保有問題、世界の人口と日本の人口、少子化対策、社会事象の解説・国内・国際問題など。	
専門	生活基礎	コミュニケーション演習	病・医院・施設の求めるホスピタリティ精神を声や笑顔、ことばを使って表現し、患者様やご家族、又スタッフ間のコミュニケーションなど円滑な人間関係を築く基礎を学ぶ。この授業を通して自己分析をして頂きセルフプランを立てる。表情筋トレーニングでは笑顔がもたらす心と人への影響を学ぶ。またボイストレーニングでは、明瞭な発声・発音を習得する。人前で話すということ、会話＝回話に置き換えて考えてもらう。グループディスカッションを通して自己を振り返ってもらう。	
専門	生活基礎	社会心理学	科学技術が急速に発展し、近代化と都市化が進む現代では、人間関係が希薄化し、個人的傾向が高まっており、現代社会における人間関係の葛藤と難しさを生む一因となっている。日常の人間関係において生じる心理と行動のメカニズムを学び、人間関係の心理の理解を深めるとともに、「自分」を知ることを通して、よりよい人間関係を築き上げる力を育てる。	
専門	生活基礎	日本語表現Ⅰ	PISA型読解力の不足が指摘されている。表現と読解は密接に結びついている。特にPISA型読解力は表現まで含んだものとして捉えなければその学力を伸ばすことは出来ない。この講義では表現と読解を総合した学力の育成を図る。(日本語の特徴)日本語について考える会話法1、会話法2、相手を納得させ感心させる話し方、読解1、読解2、読解3、新しい時代の敬語、面接、総合会話の方法で授業を展開する。	
専門	生活基礎	日本語表現Ⅱ	人に何かを伝えるためには、原則として言葉(文字)が必要である。人と人との関係に言葉は欠かせない。正しく伝えるためには、正しい言葉の使いかた、また分かりやすく伝えるためには分かりやすい表現の仕方があるはずである。一人一人が、話すことの実践を通して、表現上の正しさや分かりやすさを考えていく。言葉はコミュニケーションの基本である。話すことの意味について考え表現方法を身につけるようにする。	

専門	生活基礎	日本語表現演習	世界の言語のなかでも日本語は語彙が豊富だと言われる。私たちは、これらの豊富な語彙を十分に使いこなして話しているだろうか。そこで言葉の意味を考えながら、相手にわかりやすく伝え、かつ好感を持たれる表現力を身につけることを実践を通して考えていく。相手の心に響く話し方のコツ、納得させ感心させる話し方具体例を通し授業をすすめる。	
専門	生活基礎	日本語文法	日常会話で気づいた日本語の特徴をもとにして、初歩的な文法を学び、適切な日本語表現力を高めるための文法学習に努め、大学生活に適應できる能力の育成を目指す。日本語について文法的な面から、その基本的な基礎的な問題をとり上げ考察し、日本語学習の充実向上に資する。プリントを基に講義を行い、学生には問題演習、質疑応答を通して文法力、日本語力が定着するよう主体的に活動させる。	
専門	生活基礎	日本語読解	概習事項を応用して、日本語の読解力を伸ばすとともに基本的な記述方法を工夫し、日本語を活用する能力を養う。日本語の文章を読むことで、正しい発音、アクセント、イントネーション、語彙力、文字力、文法力を身につけ、読解能力の伸長・定着を図る。日本語で書かれた標準的な文章を読む能力の向上を図るため、広い語彙力習得の指導を中心に、学習した知識・技術を応用する能力の育成に努める。	
専門	インターンシップ	インターンシップⅠ	インターンシップの教育目的としては①職業観、就労意識の醸成。②将来のキャリアを考える機会を作る。③社会や企業等に対する理解度の向上。④人間的成長。⑤自分自身の適正、持ち味の確認。以上の達成のため、1年次冬期休暇中に実施する。在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことは、自己表現力を身につけ職業を適切判断する手段ともなる。社会に出るまでに何が必要か考え、実習に臨んでいただきたい。	
専門	インターンシップ	インターンシップⅡ	インターンシップの教育目的としては①職業観、就労意識の醸成。②将来のキャリアを考える機会を作る。③社会や企業等に対する理解度の向上。④人間的成長。⑤自分自身の適正、持ち味の確認。以上の達成のため、1年次春期休暇中に実施する。在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことは、自己表現力を身につけ職業を適切判断する手段ともなる。社会に出るまでに何が必要か考え、実習に臨んでいただきたい。	
専門	インターンシップ	インターンシップⅢ	インターンシップの教育目的としては①職業観、就労意識の醸成。②将来のキャリアを考える機会を作る。③社会や企業等に対する理解度の向上。④人間的成長。⑤自分自身の適正、持ち味の確認。以上の達成のため、2年次夏期休暇中に実施する。在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことは、自己表現力を身につけ職業を適切判断する手段ともなる。社会に出るまでに何が必要か考え、実習に臨んでいただきたい。	
専門	インターンシップ	インターンシップⅣ	インターンシップの教育目的としては①職業観、就労意識の醸成。②将来のキャリアを考える機会を作る。③社会や企業等に対する理解度の向上。④人間的成長。⑤自分自身の適正、持ち味の確認。以上の達成のため、2年次冬期休暇中に実施する。在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことは、自己表現力を身につけ職業を適切判断する手段ともなる。社会に出るまでに何が必要か考え、実習に臨んでいただきたい。	
専門	総合	卒業研究	現在のわが国の抱える諸問題に対して、学生個人が興味・感心を持った事に分析・検討しその課題について深い理解とその解決へ向けての方法を導き出すことを本講座の目的とする。具体的な諸問題としては、「諸文化に対する理解」「医療福祉への対応」や「情報化社会における対応」等中心課題とし、その指導方法や技術研究を行うものとする。	
専門	総合	卒業制作	「ファッションプロジェクトⅠ、Ⅱ」の授業と並行して、デザイン画・パターンから実物製作にまで発展させ、2年間の集大成として卒業制作展に出品する被服を製作する。「メイクアップ演習」「ネイルアート」などで習得した技術を最大限活用し、テーマを決めてモデルにメイク・施術をする。仕上げたモデルを撮影し、写真を卒業制作展に出品。学生を中心に撮影時の背景、雰囲気作り等もトータルで行い、学生個々の作品を卒業制作展に出品する。	

5 校地校舎等の図面

○アクセスマップ

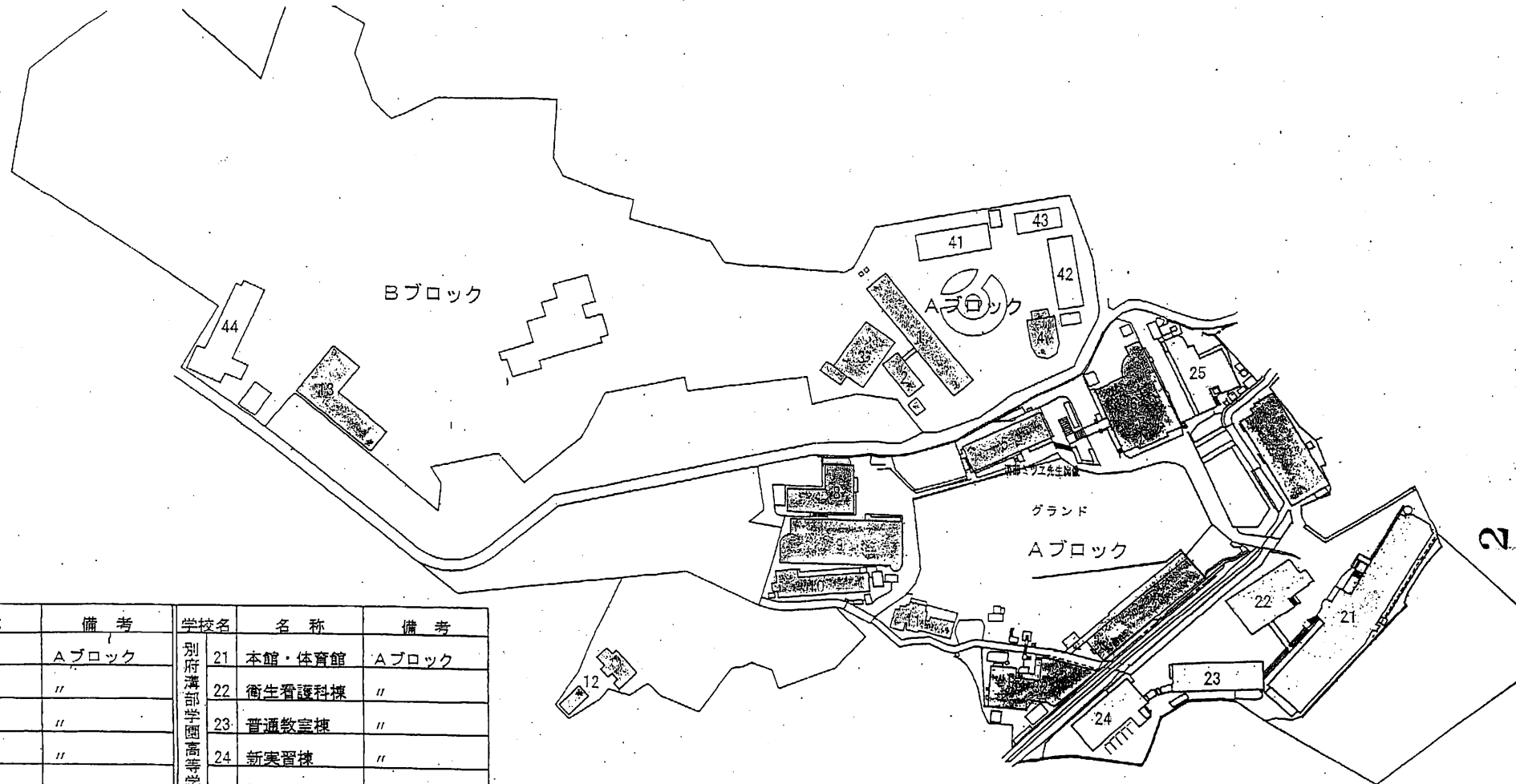


校舎棟配置図及び建物平面図

(別府溝部学園短期大学 ・ 別府溝部学園高等学校 ・ 大分県歯科技術専門学校 ・
ひめやま幼稚園)

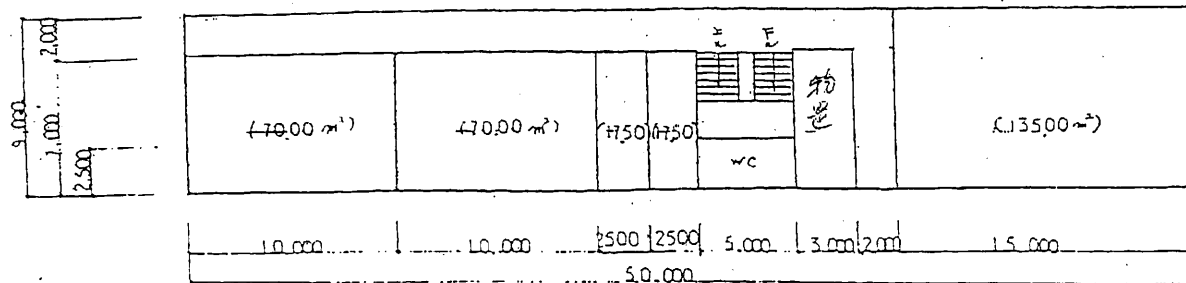
学校法人 溝部学園

学校名	名称	備考	学校名	名称	備考
1	本館	Aブロック	別府溝部学園高等学校	21 本館・体育館	Aブロック
2	音楽棟	"	22 衛生看護科棟	"	
3	ホール	"	23 普通教室棟	"	
4	87年館	"	24 新実習棟	"	
5	2号館	"	25 姫山寮	"	
6	35周年記念館	"			
7	85年館	"			
8	特別実習棟	"	心めや幼稚園	31 幼稚園棟	Aブロック
9	福祉介護棟	"	32 遊戯室	"	
10	服飾実習棟	"			
11	留学生寮	"			
12	姫山会	"	歯科技術専門学校	41 歯科1号館	Aブロック
13	橋寮	Bブロック	42 歯科2号館	"	
			43 歯科3号館	"	
			44 センタービル	Bブロック	

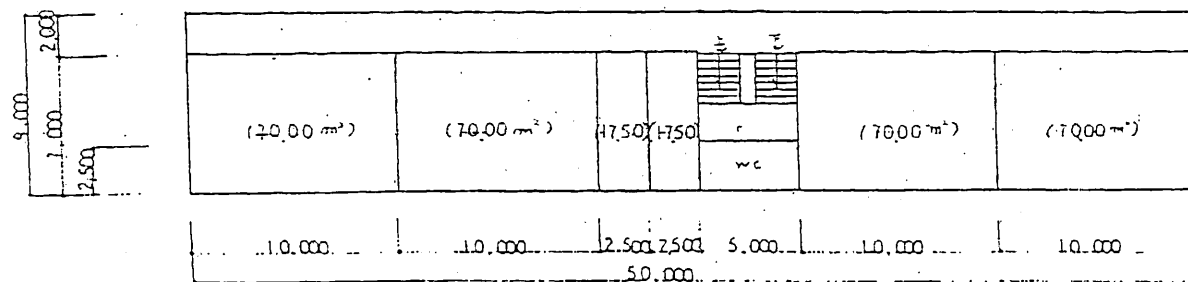


配置図 SC=1:1500

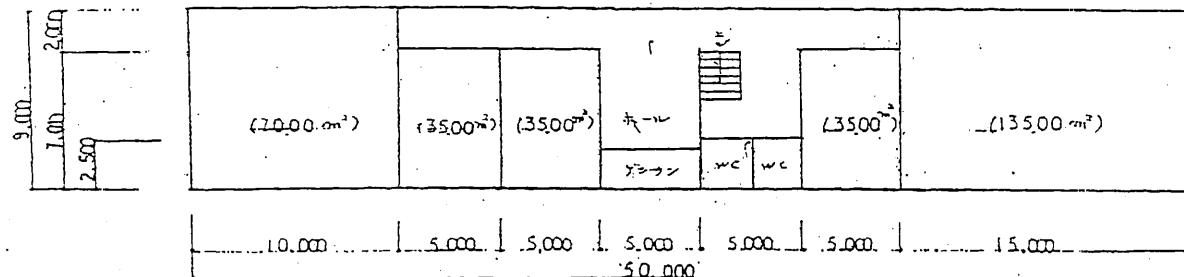
別府清部学園短期大学校舎本館



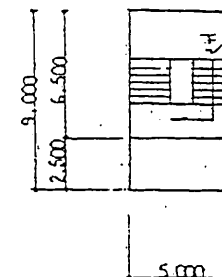
3 階平面図



2 階平面図



1 階平面図



屋 階平面図

建築面積	
456	00

建築床面積	
1 階	450 00
2 階	450 00
3 階	450 00
屋階	45 00
合計	1,395 00

乐清县中学音乐楼

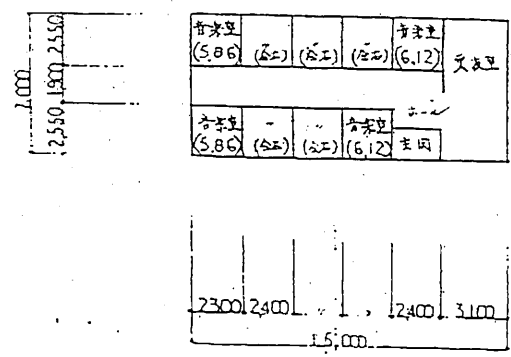
建筑面积	㎡
105.00	

建筑床面积	㎡
1 层	105.00
合计	105.00

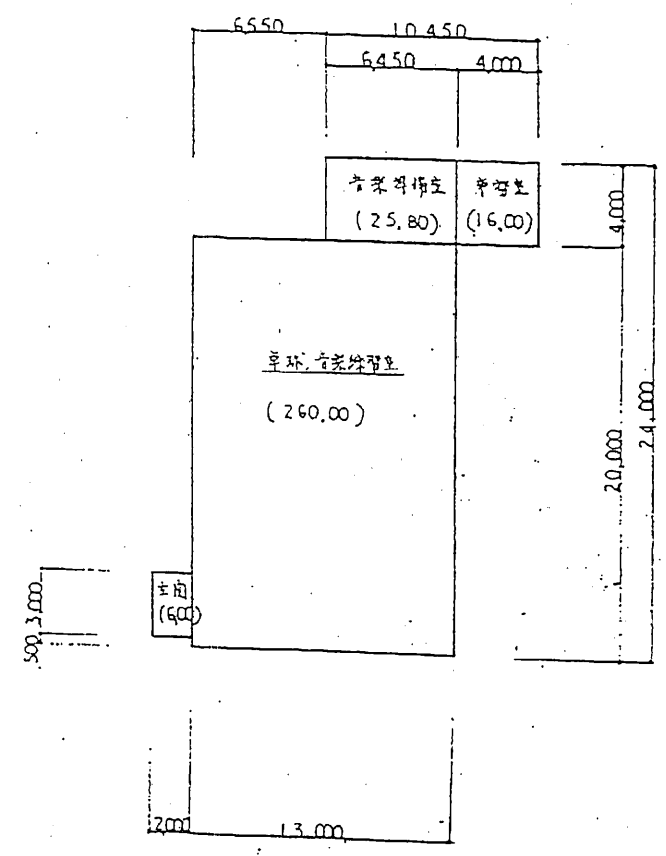
体育馆

建筑面积	㎡
309.30	

建筑床面积	㎡
1 层	307.80
合计	307.80



音乐楼 平面图



体育馆 平面图

清部學園87年館

建築面積

203.49

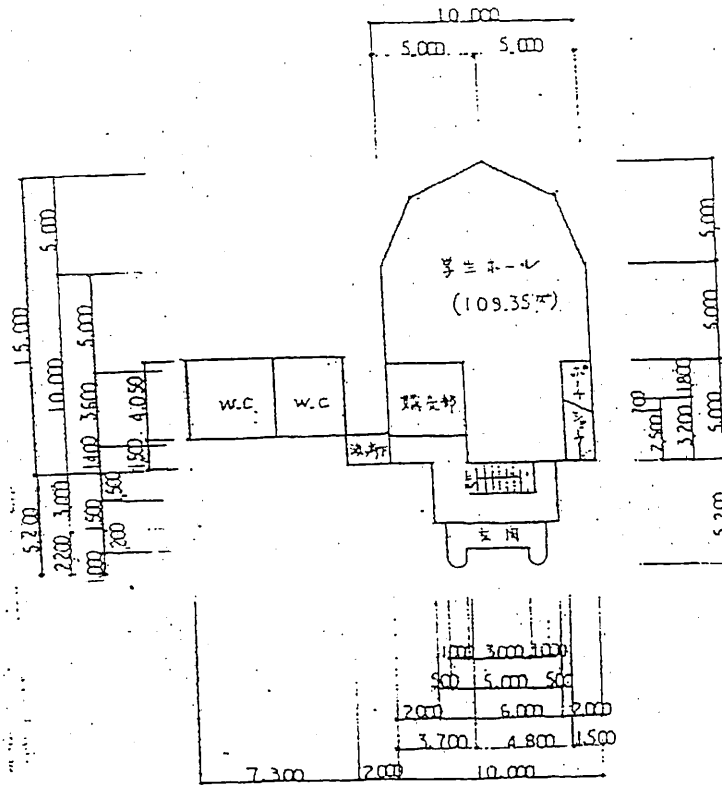
建築床面積

1 階	190.47
-----	--------

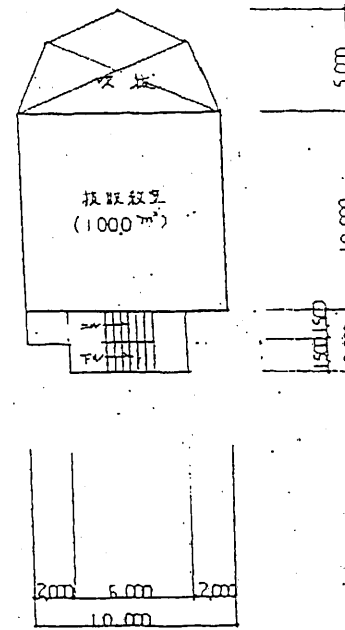
2 册	121.00
-----	--------

3 階	121.00
-----	--------

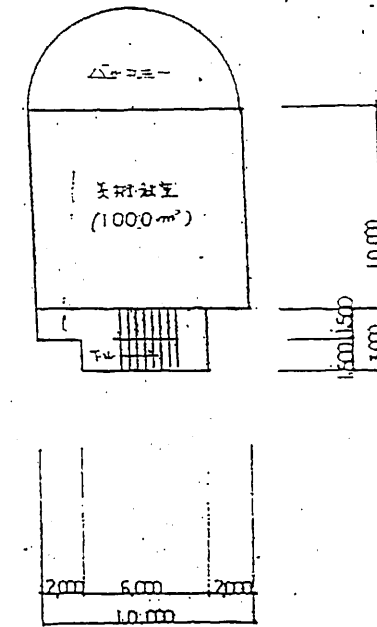
合計	432 47
----	--------



1 階平面図

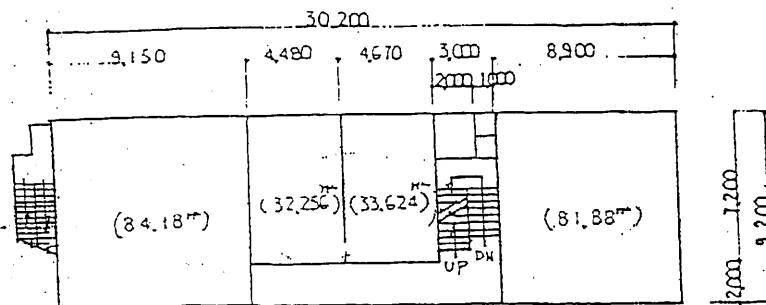


2 階平面図

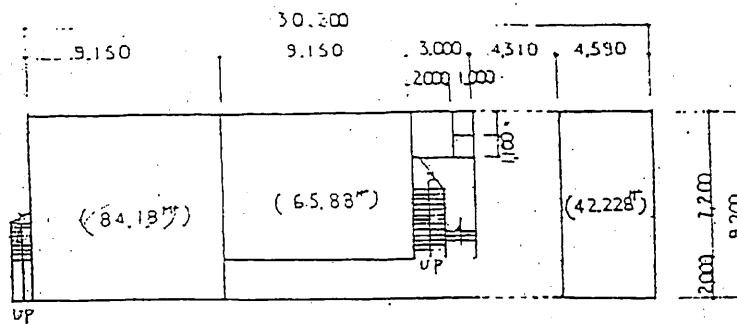


3. 階平面図

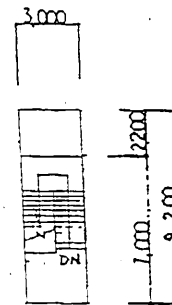
別府市立短期大学第2号館



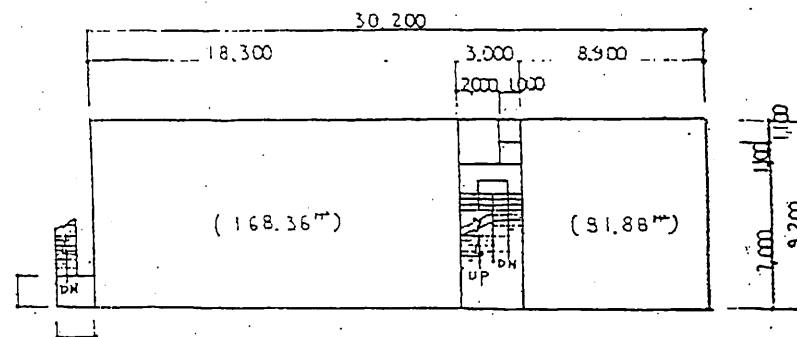
2 階平面图



1 階平面图



屋 階平面图



3 階平面图

建築面積 m²

277.84

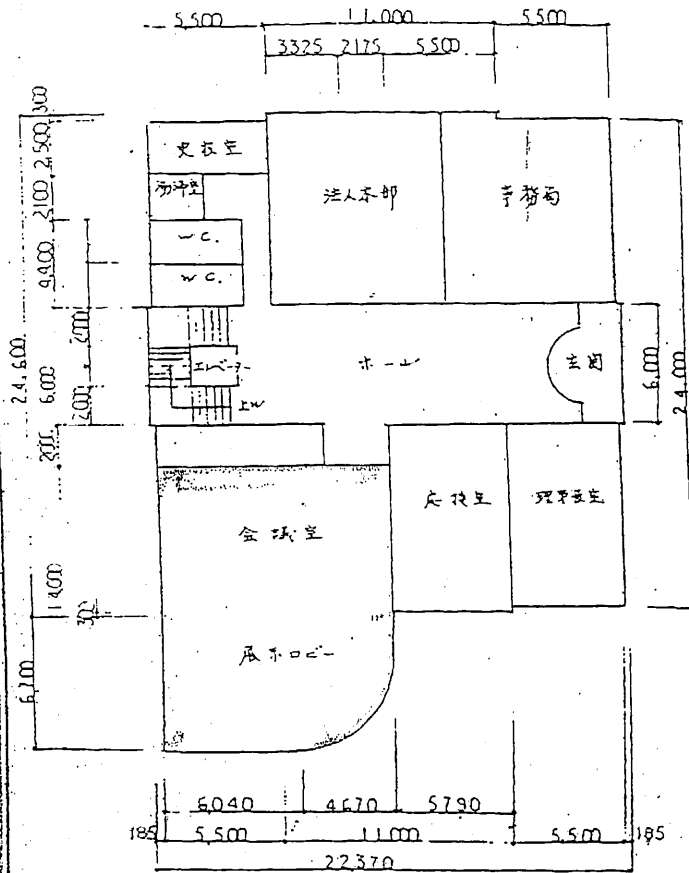
建築床面積 m²

1 階	277.84
2 階	277.84
3 階	277.84
屋 階	27.60
合計	861.12

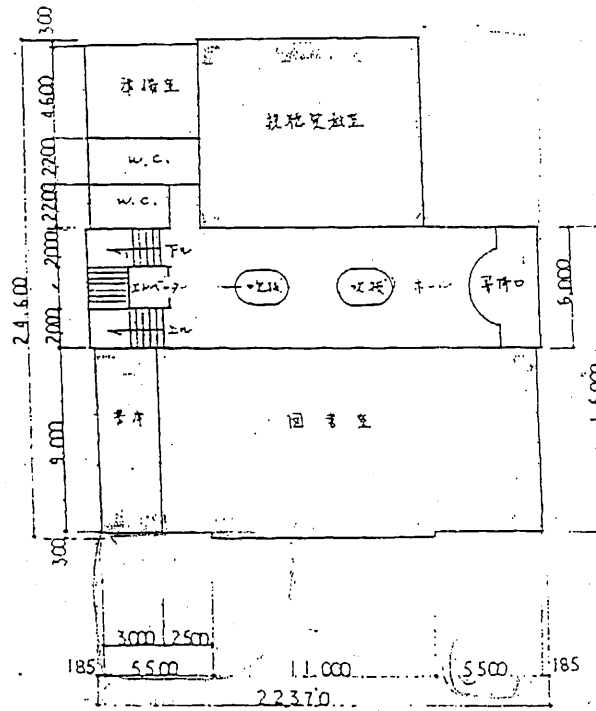
溝部学園記念館 ①

建築面積 m^2
672.93

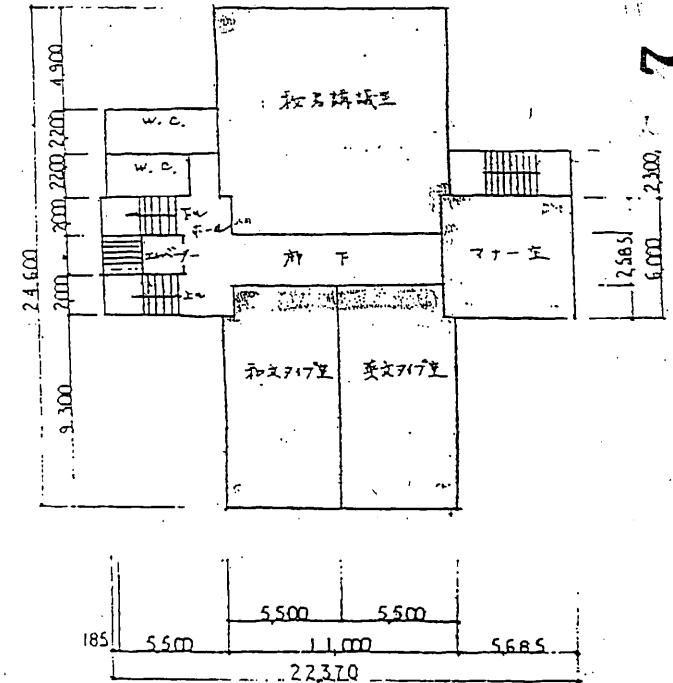
建築床面積 m^2	
1階	614.53
2階	478.63
3階	363.02
4階	363.02
R階	36.69
PH階	36.69
合計	1892.58



1 階平面図

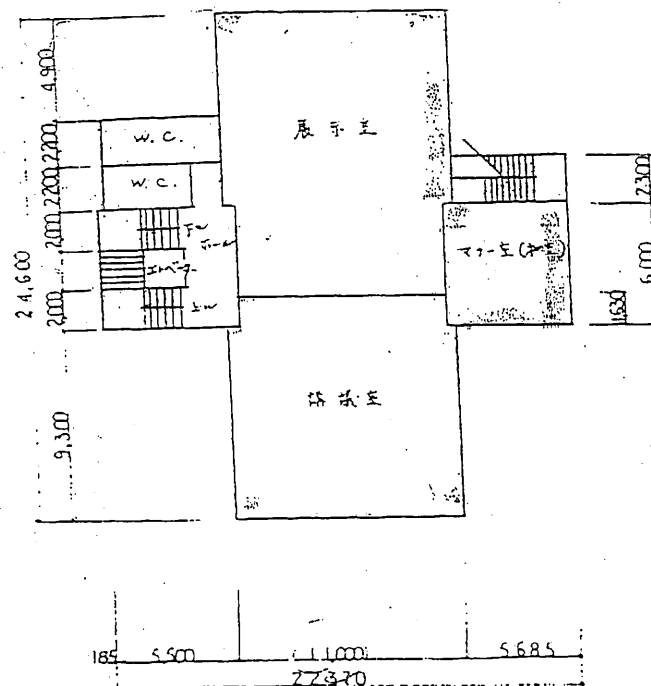


2 階平面図

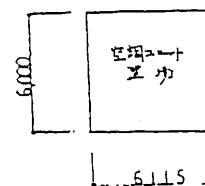


3 階平面図

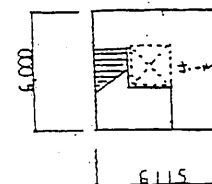
溝部学園記念館 ②



4 階平面図



R 階平面図

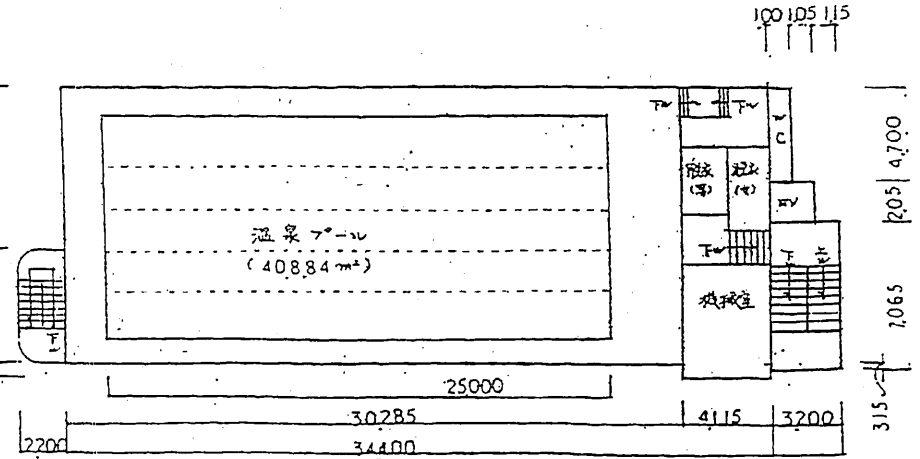
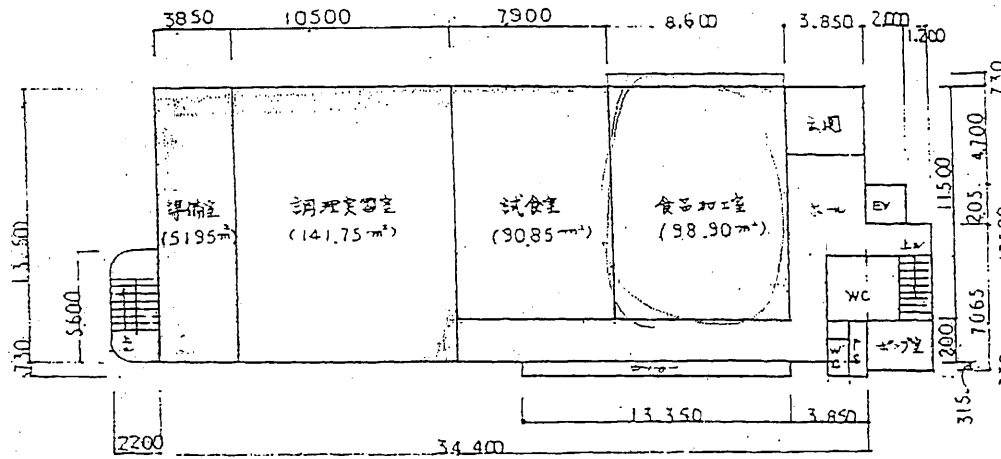
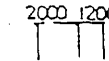
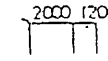
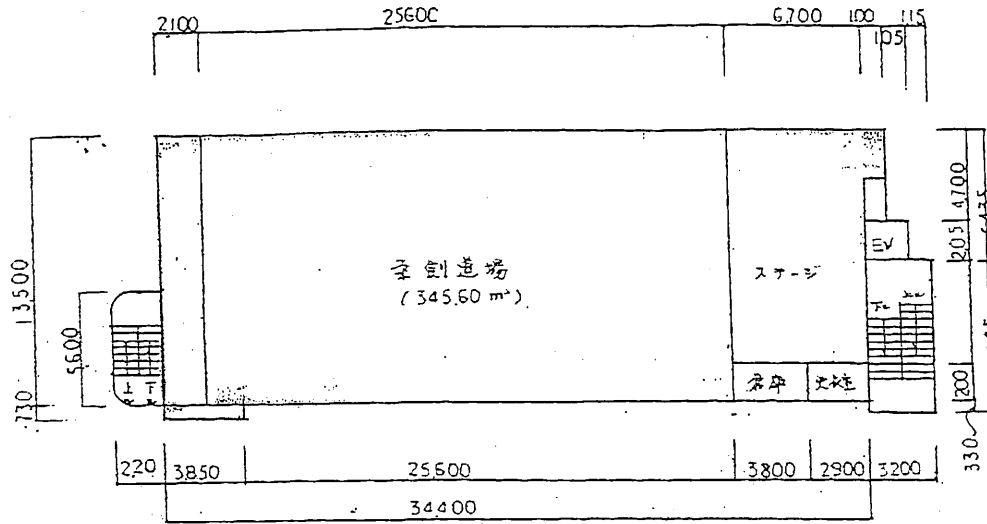


PH 階平面図

溝部学園 85年館

建築面積 m^2
522.60

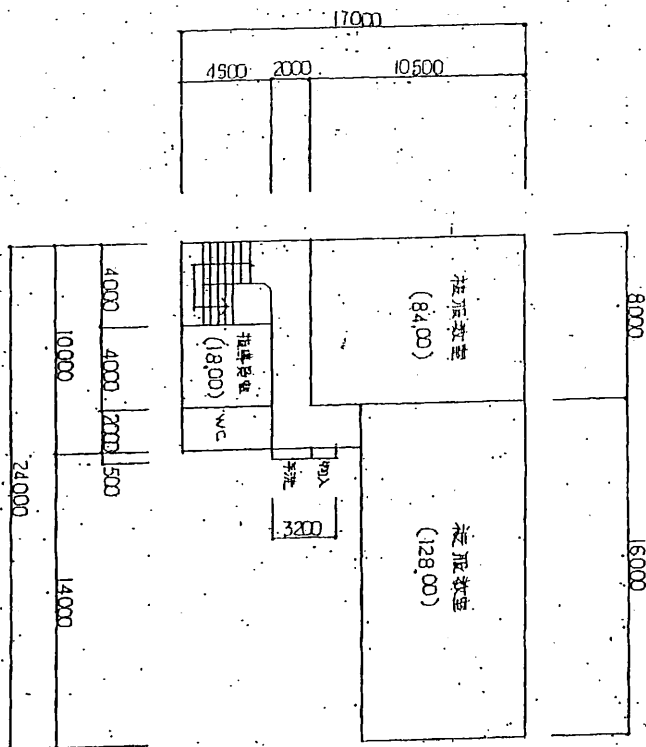
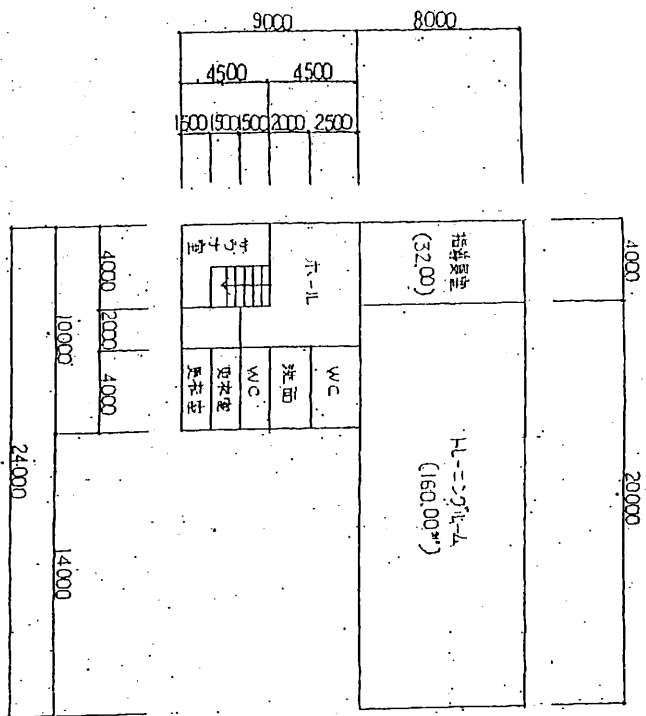
建築床面積	
1 階	507.25
2 階	501.82
3 階	498.52
R 階	26.61
PH 階	26.61
合計	1560.81



別府藩邸學園延大堀別實習使

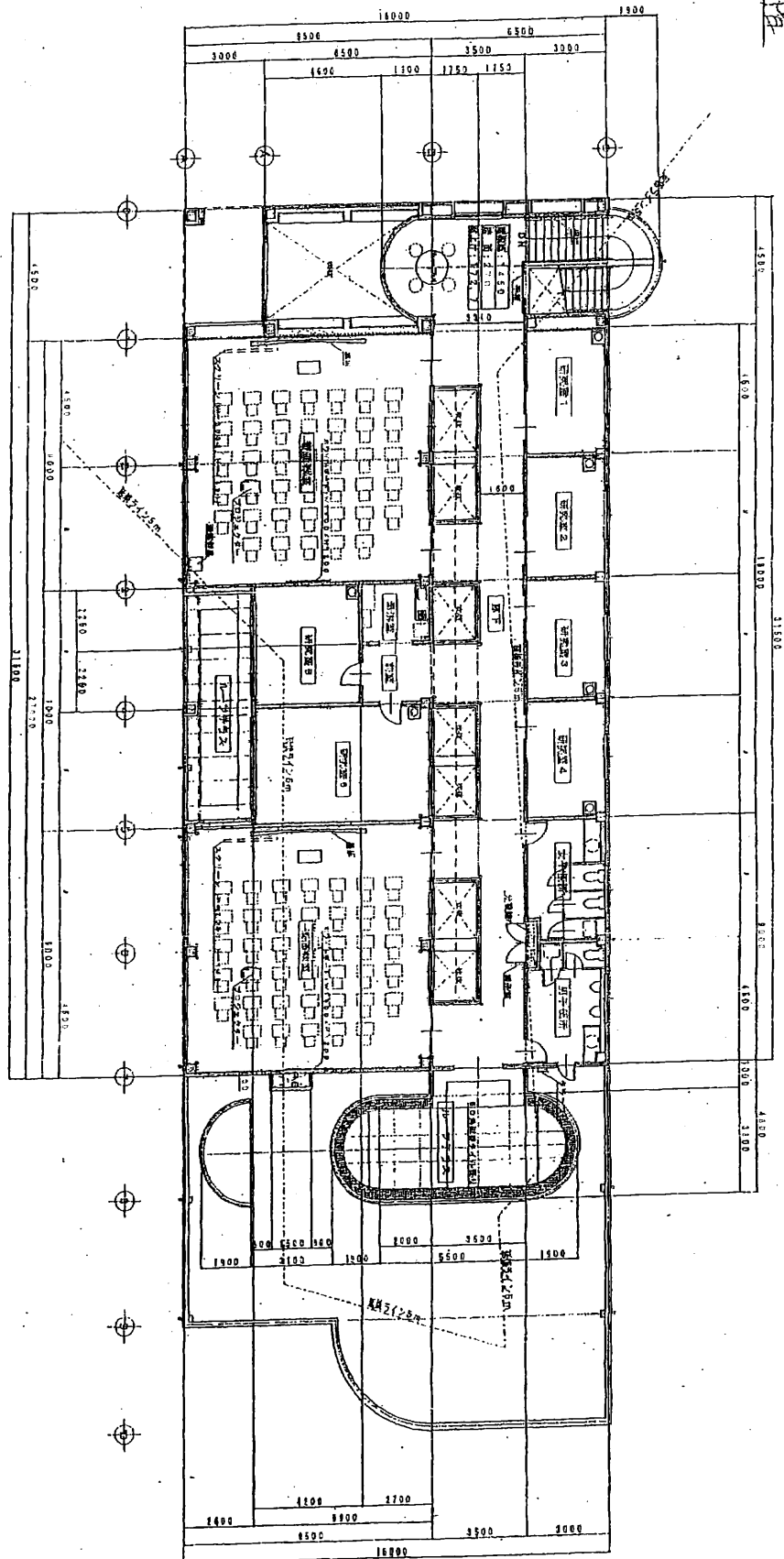
建築面積	293.16
------	--------

建築費用積	
1階	282.00
2階	283.60
合計	565.60



別府大学看護学大福祉介護棟 ②

2階

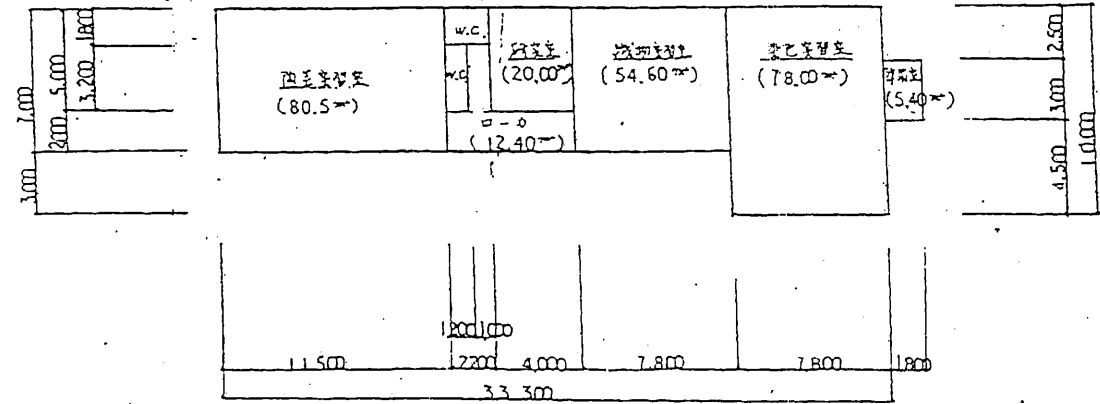


■凡例
 ・床高: NEWDUD, 0-14M (7.5M)
 ・コンクリート: SAFETYCONCRETE, NS-70V (7.5M)
 ・天井: 鋼鉄構造に木造1.4M高2階に天井付、防火構造
 (7.5M高天井、天井にB1=12.5+8.5=21.0M)

別府清部学園短大染整実習棟

建築面積
288.84

建築床面積
1階 261.90
合計 261.90



平面图

日內蘇拉學園大 第2學學生寮

平面圖

尺

300

學校名

學校

經費管理

(經費管理)

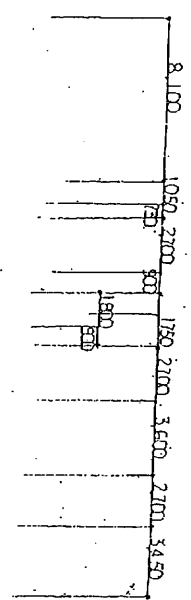
(市町村)

(半校)

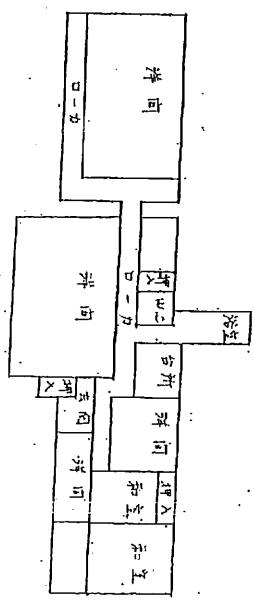
經費管理

建築面積	㎡
192.65	

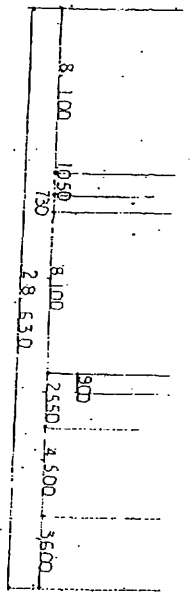
建築面積	㎡
192.65	
合計	192.65



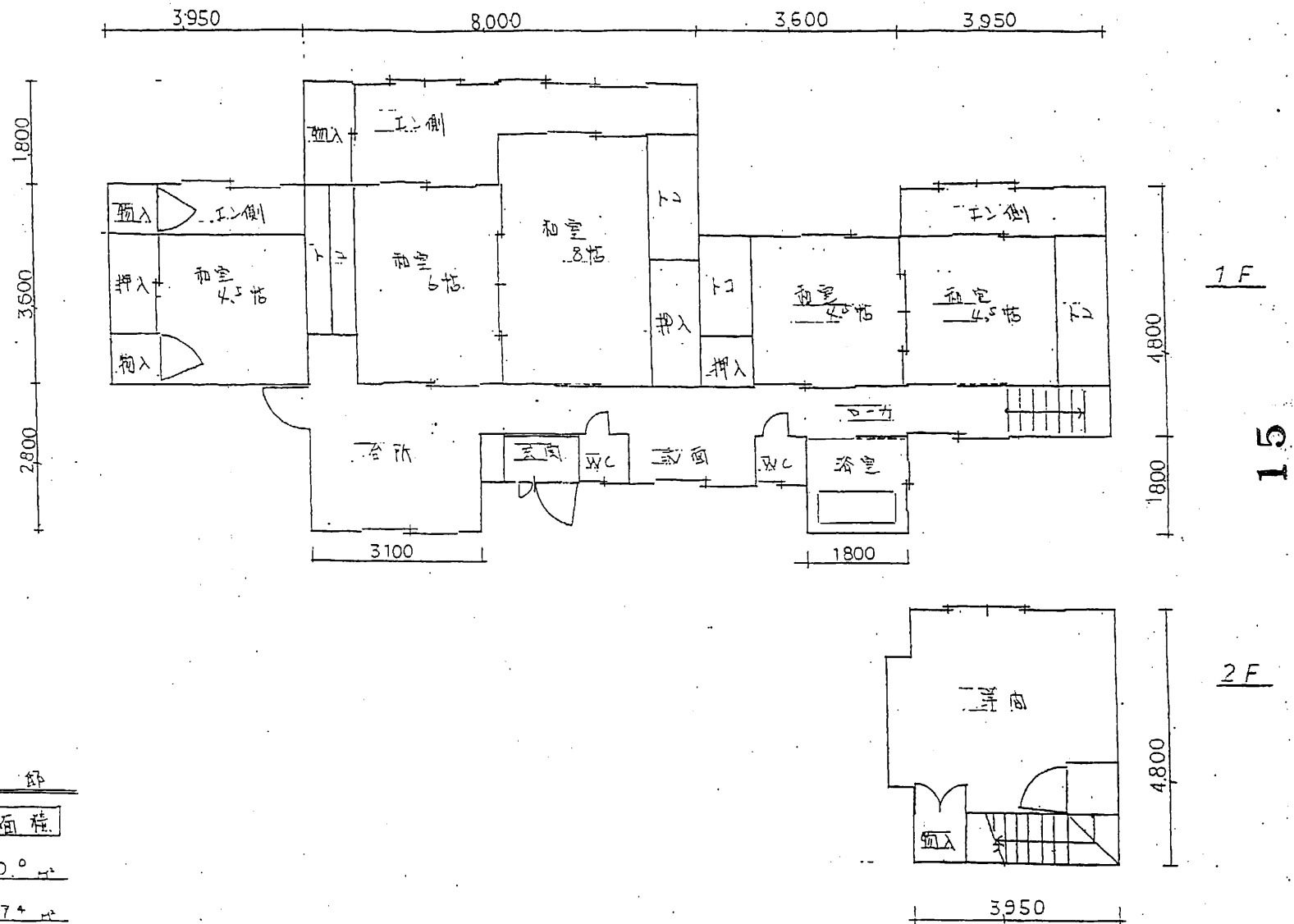
8,110	
1050	4,500
5400	1810
	800



1820	800	2400	800
900	1600	4,200	
	6,000	3,300	
	9,300		



平面圖



部	
床面積	
1F	110.0 m ²
2F	17.4 m ²
合計	127.4 m ²

PH 階平面図